

ELECOM

Wireless Broadband Router

IEEE802.11ac/11a/11n/11g/11b対応 無線LANブロードバンドルーター

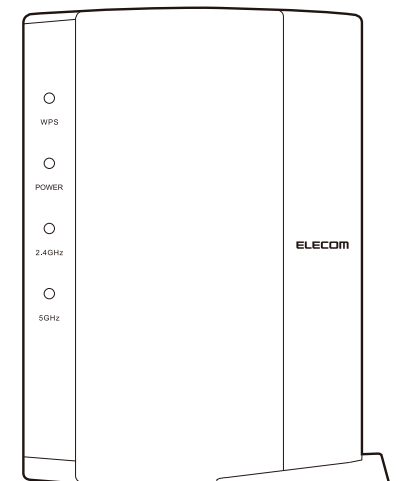
WRC-1167GEBK-I/WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-I

IEEE802.11n/11g/11b対応 無線LANブロードバンドルーター

WRC-300GHBK2-I

User's Manual

導入時の基本的な手順は、製品に付属する「かんたんセットアップガイド」等をお読みください。



※ WRC-300GHBK2-I には 5GHz の LED ランプはついておりません。

エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線LANブロードバンドルーター「WRC-1167GEBK-I/WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-I/WRC-300GHBK2-I」を称して「本製品」と表記しています。
11ac/11a/11n/11g/11b	IEEE802.11ac規格を「11ac」、IEEE802.11n(2.4G/5G)規格を「11n」、IEEE802.11a規格を「11a」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
11n/11g/11b	11n(2.4GHz帯)/11g/11bの略です。
11ac/11an	11a/11n(5GHz帯)/11acの略です。
無線LANルーター	無線LANブロードバンドルーターを略して「無線LANルーター」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線LANルーター、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線LAN子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線LAN子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線LAN子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプターを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきます。

ELECOM

IEEE802.11ac/11n/11a/11g/11b対応 無線LANブロードバンドルーター

WRC-1167GEBK-I WRC-F1167ACF WRC-733GEBK-I

IEEE802.11n/11g/11b対応 無線LANブロードバンドルーター

WRC-300GHBK2-I

User's Manual ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、エレコムのIEEE802.11ac/11n/11a/11g/11b対応 無線LANルーターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定をおこなう場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

本製品の基本的な導入手順については、付属の印刷物による各種説明書をお読みください。

安全にお使いいただくために

本マニュアルでは製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警 告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注 意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

	丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



警 告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちにパソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



製品には、ACアダプターまたは電源コードが同梱されています。

製品に同梱されているACアダプターまたは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

ACアダプターまたは電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプターまたは電源コードを大切に。

ACアダプターまたは電源コードのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電／火災の原因となります。



36～64chは、屋外で使用しないでください。

電波法により、W52、W53は屋外の使用が禁止されています。



注 意

-  ACアダプターまたは電源コードのコードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本もの延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。
-  ACアダプターまたは電源コードのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
-  通気孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。
-  高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
-  本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
-  ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

- 無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
 - 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用する事
- これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
 - 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために	4
---------------	---

Chapter 1 導入編 9

1 製品の保証について	10
2 サポートサービスについて	11
3 このマニュアルをお読みになる前に	12
4 本製品の概要について	14
本製品の特長	14
本製品の動作環境	17
5 各部の名称とはたらき	18
6 設定ユーティリティについて	22
7 作業をおこなう前に	24
接続事業者との契約状況を確認する	24
端末装置のタイプについて	25
設定に必要なプロバイダー情報を用意する	25

Chapter 2 接続編 27

1 セットアップの流れ	28
2 本製品を設置する	30
接続の準備をする	30
本製品を接続する	31
3 ウィザードを使ったセットアップ	34
設定ユーティリティを表示する	34
インターネット接続設定ウィザードで	
セットアップする	37
4 本製品に無線 LAN で接続する	41
はじめにご確認ください	41
WPS ボタンを使って接続する	42
PIN コードを入力して接続する	44
手動設定で接続する	46

Chapter 3 詳細設定編 49

1 設定ユーティリティ画面について	50
設定ユーティリティ画面を表示する	50
設定ユーティリティ画面の内容	52
2 インターネット設定	53
3 無線設定	54
基本設定 (2.4GHz 帯 [11n/g/b] の場合)	54
基本設定 (5GHz 帯 [11ac/11an] の場合)	57
WPS 設定	59
4 セキュリティを設定する (無線の暗号化)	60
WPA-PSK の設定	62
WEP の設定	65
5 WAN&LAN 設定	69

LAN 設定 画面	69
固定 DHCP 設定 画面	70
WAN 設定 画面	73
DDNS 画面	80
6 こどもネットタイマーの設定	82
こどもネットタイマーでできること	82
タイマー機能 画面	84
スケジュール機能 画面	86
7 LED 省電力機能の設定	89
8 ファイアウォールの設定	90
アクセスコントロール 画面	90
ポートフォワーディング 画面	93
URL フィルタリング設定 画面	96
DMZ 設定 画面	98
QoS 画面	99
9 システム設定	101
ステータス 画面	101
設定保存と復元 画面	103
パスワード設定 画面	105
アクセスログ	106
10 ファームウェアのアップデート	107
最新ファームウェアの自動更新機能	108
手動でファームウェアを更新する	112

Appendix 付録編 117

1 子機モード (コンバーターモード) を使う	118
子機モードに変更する	118
無線親機にアクセスする	120
有線ネットワーク機器と接続する	123
子機モードでの設定メニューについて	124
子機モードの注意点	124
2 中継器モード (リピーターモード) を使う	125
中継器モードに変更する	125
無線親機にアクセスする (WPS で接続する)	128
無線親機にアクセスする (手動で接続する)	129
無線中継器と接続する	132
中継器モードでの設定メニューについて	133
中継器モードの注意点	133
3 AP モードで設定ユーティリティにアクセスする	134
4 スマートフォンから手動で無線接続する	137
iPhone/Android 端末から本製品に無線接続する	137
iPhone/Android 端末からインターネットに接続する	145
5 スマホ/タブレットからの詳細設定	148
6 サービス情報サイト使用時の設定	149
7 こんなときは	152
8 パソコンの IP アドレスの確認方法	155
パソコンの IP アドレスを表示する	155
工場出荷時での表示結果	158
9 基本仕様	159

Chapter 1

導入編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より1年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については個装箱に記載の保障規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

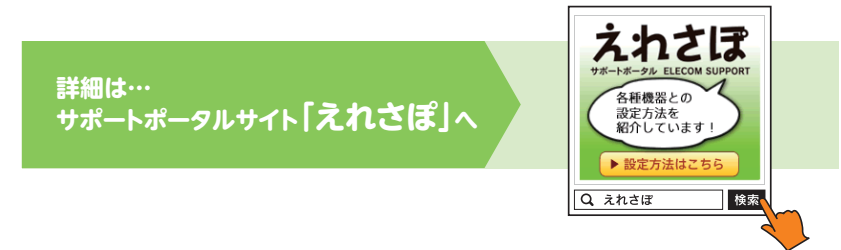
詳しい保証規定につきましては、個装箱に記載の保障規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

P11「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。



エレコム・ネットワークサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00（祝日営業）

※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。
 This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・インターネットに関するプロバイダー契約の書類
- ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「かんたんセットアップガイド」「製品情報」「補足編」の3つのマニュアルが付属しています。各マニュアルには、以下の内容が記載されています。該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

●「セットアップガイド」のおもな内容

本製品をインターネット機器（終端装置）に接続する手順。
付属のセットアップCDを使ってWindows/パソコンから本製品およびインターネットへ接続する方法。
スマートフォン/タブレット（AndroidまたはiOS）から、無料アプリを使って本製品およびインターネットへ接続する方法。
CD-ROMドライブがないために付属セットアップCDが使えない場合のWindows/パソコンからの設定方法。
Macからの設定方法。

●「製品情報」のおもな内容

本製品の各部の名称とはたらき。
本製品の基本情報。
工場出荷時における設定値および基本仕様。
注意事項。
FAQ（困ったときにお読みください）。

●「補足編」のおもな内容

こどもネットタイマー機能の設定方法。
Wi-Fiゲーム機から本製品への接続方法。
本製品を活用するためのヒント。
サポートサービスのご案内。

※マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

●ユーザーズマニュアルの内容について

ユーザーズマニュアルは、基本的に印刷物のマニュアルに記載されていない内容について説明しています。詳しくは「もくじ」および内容をご覧ください。

Web版の設定ユーティリティのウィザード機能を使って、パソコンからインターネットへ接続する方法。

無線LAN子機から本製品へ接続するための設定手順（WPS、PINコード、手動設定）。

Web版の設定ユーティリティに搭載された機能の詳細な説明。

カメラ機能がない、QRコードが読み取れない場合のスマートフォン/タブレットから本製品へ接続する方法。

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合

エレコム・ホームページのサポートページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

4 本製品の概要について

本製品の特長

●正式版「IEEE802.11ac」に対応

正式に承認された無線規格「IEEE802.11ac」に対応し、最大867Mbps (WRC-1167GEBK-I/WRC-F1167ACF)/433Mbps (WRC-733GEBK-I) [理論値]の高速Wi-Fi通信を実現します。11n/a (5GHz帯)と同じ電波干渉の少ない5GHz帯を使用するため、電波干渉の影響を受けやすい11n/b/g (2.4GHz帯)に比べて、場所を選ばず高速通信が可能になります。

※ WRC-300GHBK2-Iは対応していません。

●11n/g/bで同時接続が可能

11n/aおよび11n/g/b規格にも対応しますので、11ac規格に非対応のスマートフォン、ゲーム機などは、11aや11n/g/bで接続して楽しむことができます。パソコンを中心に11ac規格が広まることが予想されますので、11ac規格の無線LAN子機がない場合でも、将来を見据えて気軽に導入できます。

※ WRC-300GHBK2-Iは11n/g/bのみ対応しております。

●高速無線通信で100Mbps超えのインターネットサービスにもお勧め

100Mbpsを超える次世代インターネットサービス (auギガプラン、光ネクストハイスピードなど)に最適な高速通信に対応しており、動画のストリーミングも快適です。

●設定ツールでWindowsパソコンからのインターネット接続がさらに簡単

付属セットアップCDに含まれる「かんたんセットアップツール」を使用することで、Windows/パソコンからのインターネット接続設定が簡単にできます。PPPoE接続、DHCP接続、固定IP接続という標準的なインターネット接続回線の種別を自動判別し、適切な接続方法が自動的に設定される「おまかせ接続」です。回線をあらかじめ調べて、手動で選択する必要がありません。

●パソコン不要！アプリとQRコードでスマートフォン/タブレットから簡単設定

iPhone/iPad/iPod touchおよびAndroid端末のカメラ機能付きモデルから、本製品へWi-Fi接続するための専用アプリ「QR link」をご用意しました。「App Store」または「Google Playストア」からアプリをインストールして使用すると、QRコードを読み取るだけで簡単に本製品へ接続できます。パソコンを一切使わずに、画面をタップするだけで、本製品へのWi-Fi接続およびインターネット接続の設定ができます。

また、カメラ機能を搭載していないモデルやQRコードが読み取れない場合でも、暗号キーを使った手動設定で、Wi-Fi接続とインターネット接続の設定が可能です。

●ボタンひとつで設定完了、WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用

WPSボタンを押すことで、セキュリティ設定を含めた無線LAN接続を簡単に完了できます。対応しています。本製品上面 (縦置き時)のWPSボタンまたは設定ユーティリティ画面上の面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に。

●お子様のインターネット接続を制限できる「こどもネットタイマー」機能搭載

お子様がWi-Fiゲーム機やスマートフォン、パソコンなどからインターネットへ接続する時間を1日単位で制限することができます。お子様のインターネットの利用を安心して管理することができます。設定は無線端末ごとに可能で、たいへん便利です。

●“イカロスモバイルセキュリティ for Android”1年間ライセンスが付属

セキュリティアプリ“イカロスモバイルセキュリティ for Android”1年間無料シリアルキーを添付し、1台まで登録可能です。スマートフォンなどのAndroid端末をウイルスから保護したり、紛失・盗難時の情報漏えいを防止することができます。※ iOS搭載機器は対象外です。

●子機モード (コンバーターモード) と中継器モード (リピーターモード) を搭載

本製品を接続することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができる「子機モード (コンバーターモード)」と、本製品を中継器として使用することで、電波の届きにくい場所でも無線電波を中継して通信範囲をより広く使用することができる「中継器モード (リピーターモード)」を搭載しています。

●LEDランプを消灯できる「LED省電力モード」を搭載

本製品の消費電力を抑える「LED省電力モード」を搭載しました。省電力機能を「有効」にすると、2.4G WLANランプ、5G WLANランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

●Web ブラウザーベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

●スイッチひとつでルーターを無効にできる「APモード」搭載

ケーブルテレビモデム、ONU、CTUなどの終端装置にルーター機能が内蔵されている場合に、本製品のルーター機能をオフにできるAPモードを装備しています。本体背面のスイッチを切り替えるだけで設定を変更できます。

●IPv6 Bridge機能を搭載

さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6サービスを利用できるように、「IPv6 Bridge」機能を搭載しています。設定をオフにすることもできます。

●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格であるWPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信するSSIDを無線クライアント側で表示されないようにするSSIDステルス機能、無線クライアントのMACアドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。また、有害なWebサイトへのアクセスを制限するURLブロック機能などを備えています。

●特定の通信の帯域幅を確保できる「QoS」機能に対応

全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能に対応しています。この機能を使うことで、ストリーミング映像を楽しんでいるときに、他のサービスに帯域を取られて、映像が止まるというような心配がなくなります。複数のサービスに個別に帯域幅を割り当てることができます。

●バーチャルサーバー機能を搭載

ポート転送（ポートフォワーディング機能）を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバー」としてインターネット経由で安全に公開できます。PPPoE接続など、IPアドレスが動的に変化する環境でも、ダイナミックDNS（クリアネット）サーバーへの接続機能を備えていますので、IPアドレスの変更なく運用が可能です。

●UPnPに対応

UPnP（Universal Plug and Play）に対応しています。Windows MessengerなどのUPnP対応ソフトが特別な設定をせずに利用可能なほか、UPnP対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。ネットワークゲームを安心して利用できるDMZ機能も備えています。

●その他、豊富な機能を搭載

- ・接続する無線LAN規格を選択可能
- ・NTP（Network Time Protocol）サーバーを自動検出して時刻を自動設定
- ・ファームウェアが設定ユーティリティから簡単にアップデート可能

本製品の動作環境

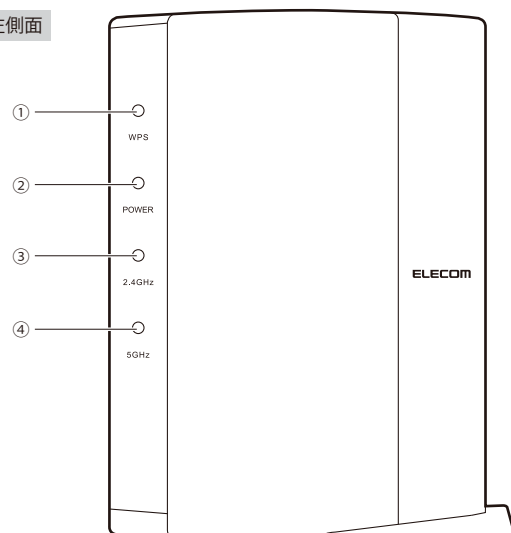
ルーター機能については、TCP/IPプロトコルを利用できるOSであれば使用できます。ただし、弊社では次の環境のみサポートしています。

また、Webベースの設定ユーティリティを採用していますので、本製品の設定にはWebブラウザが必要になります。

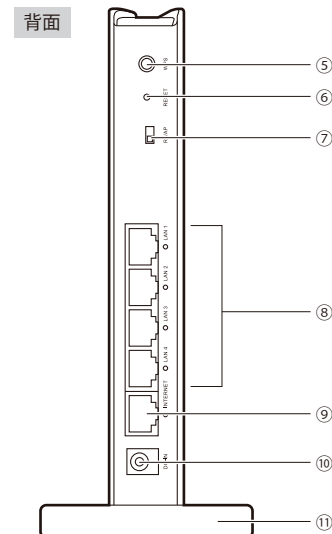
対応機種およびOS	Windows RT/10/8.1/8/7/Vista/XPを搭載するWindowsマシン Mac OS X (10.5～10.10)をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
Webブラウザ	Internet Explorer 5.5以降
かんたんセットアップCD	Windows 8.1/8/7 (SP1～) /Vista (SP2～) /XP (SP3～)を搭載するWindowsマシン

5 各部の名称とはたらき

左側面



番号	名称	はたらき
①	WPS ランプ (赤色)	点滅：WPS 設定ボタンを押して WPS 機能を実行している状態です。 約2分間、0.5秒間隔で点滅します。 消灯：WPS 機能を実行していない状態です。
②	POWER ランプ (白色)	点灯：本製品の電源が入った状態です。 消灯：本製品の電源が切れた状態です。
③	2.4G WLAN ランプ (白色)	2.4GHz 帯 (11n/g/b) および 5GHz 帯 (11ac/n/a) の接続状況を表示します。 ※ WRC-300GHBK2-I は、2.4GHz 帯のみ対応
④	5G WLAN ランプ (白色)	点灯：該当する帯域を使用する無線クライアントと接続中です。 点滅：該当する帯域を使用する無線クライアントと接続を開始して10秒以内の状態です。 消灯：該当する帯域を使用する無線クライアントがない状態です。



番号	名称	はたらき
⑤	WPS 設定ボタン	WPS 機能搭載の無線 LAN 子機 (無線アダプターなど) と接続するときに使用します。使用するときは、2秒以上押します。
⑥	リセットボタン	このボタンを10秒以上押し続けると、電源ランプが点滅し、本製品の設定値が初期化されます (工場出荷時の状態に戻ります)。電源ランプ点滅中は、電源を切らないでください。
⑦	RT/AP モード 切り替えスイッチ	本製品を RT (ルーター) モードで使用するか、 AP (アクセスポイント) モードで使用するかを 選択するスイッチです。 初期値は「RT モード」です。 (縦置き時) AP モード RT モード
⑧	LAN ポート / LAN ランプ 1~4 (白色)	パソコンやネットワーク機器を、有線 LAN で本製品に接続するためのポートです。 各ポートの横には、LED ランプが付いています。 点灯：有線 LAN 接続のパソコンやネットワーク機器とリンクが確立しています。 消灯：ケーブル未接続の状態です。
⑨	INTERNET ポート / INTERNET ランプ (白色)	各種モデム (ONU、CTU など) の WAN 側機器からのケーブルを接続します。 ポートの横には、LED ランプがついています。 点灯：WAN 側機器とのリンクが確立しています。 消灯：ケーブル未接続の状態です。

番号	名称	はたらき
⑩	DC IN (電源ジャック)	本製品に付属のACアダプターを接続します。本製品に付属以外のACアダプターを接続しないようにしてください。
⑪	スタンド	本製品は、付属のスタンドを使用することで、縦置き、横置きどちらにでも対応します。スタンドの使用方法については、P21「設置方法と設置時のご注意」をお読みください。

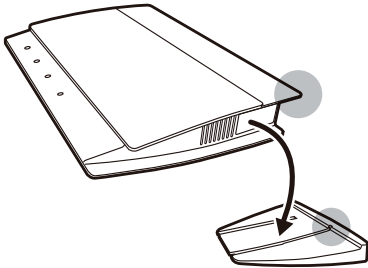
●設置方法と設置時のご注意

本製品は、縦置き/横置き、いずれでの設置にも対応しています。いずれの場合も、本体が安定するように、必ず付属のスタンドにセットしてください。また、いずれの場合も、転落・引き抜け防止処置をとってください。本製品が動作している状態での転落や、コネクター類の引き抜けは故障・データ消失の原因となります。

スタンドは本体に固定されません。ケーブル類を本体に接続したあと、スタンドに設置してください。

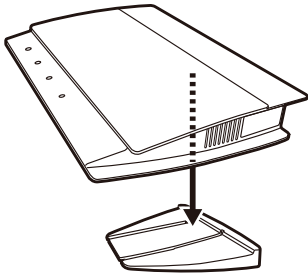
◆縦置き時

- ・LEDランプがある側を前方にします。
- ・イラストを参考に本体の後方が付属のスタンドの溝にぴったり収まるようにセットします。



◆横置き時

- ・LEDランプがある側を上面にします。
- ・本体を付属のスタンドの中央後方に載せるように置いて、本体がぐらつかないようにします。



6 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザーから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティの[ホーム]に表示されるボタンの内容を説明します。各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

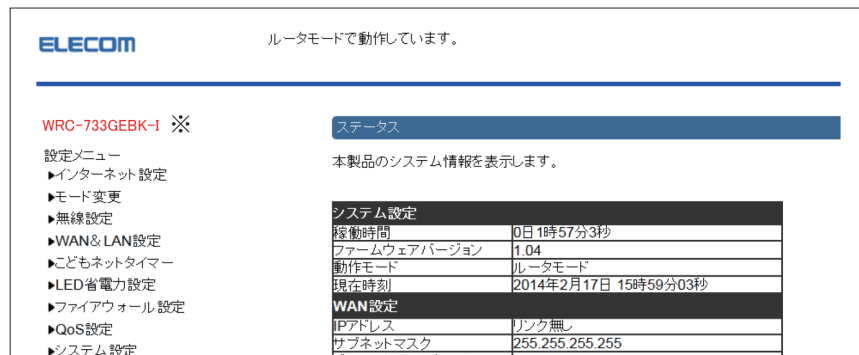
MEMO

設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWeb ブラウザーで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続するか、無線LANでパソコンから本製品にアクセスできるようになっている必要があります。

設定ユーティリティの表示方法

P34「設定ユーティリティを表示する」をお読みください。



※本部分は各型番により変わります。

メニュー項目	内容
インターネット設定	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P53)
無線LAN設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。2.4GHz帯と5GHz帯のそれぞれに基本設定(→P54・P57)、暗号化設定(→P60)、WPS設定(→P59)、があります。
WAN & LAN設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN設定(→P69)、WAN設定(→P73)があります。
こどもネットタイマー	専用の接続ID「こどもネットSSID」を使用し、タイマー設定することで、ゲーム機をはじめ各種Wi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができるメニューです。(→P82)
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。(→P89)
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。アクセスコントロール(→P90)、ポートフォワーディング(→P93)、URLフィルタリング(→P96)、DMZ(→P98)があります。
QoS	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P99)。
システム	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P101)、ファームウェア更新(→P107)、設定保存と読込(→P103)、パスワード設定(→P105)があります。

7 作業をおこなう前に

本製品と機器の配線作業をおこなう前に、以下について確認します。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。すでにルーターを使わずにインターネットに接続できている場合は、①～③についての確認の必要はありません。

①回線事業者/プロバイダーと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダーとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスなどNTT西日本およびNTT東日本のサービスについては、別途プロバイダーとの契約が必要です。

②終端装置は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSLなどの終端装置と本製品を接続する必要があります。終端装置を別途購入されるように契約している場合は、対応する終端装置をご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者/プロバイダーとの契約に加え、屋内までの配線工事と終端装置の準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、有線または無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに内蔵されていない場合は、別途LANアダプターや無線LAN子機を準備してください。

また、無線で接続する場合は、IEEE802.11ac/11a/11n/11g/11bいずれかの無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線LAN機能が内蔵されていない場合は、別途無線LAN子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

無線LAN子機から本製品への接続には、本製品のSSIDおよび暗号キーが必要になることがあります。これらは本製品に付属の設定情報シートに記載されています。

終端装置のタイプについて

本製品は、ルーター機能に無線LAN機能を搭載した無線LANルーターです。現在、プロバイダーから提供される終端装置には、すでにルーター機能が内蔵されている製品があります。

ルーター機能内蔵の終端装置に本製品を接続する場合でも、本製品のウィザード機能を使用することで、適切な状態でインターネットに接続できます。

ただし、終端装置に内蔵されているルーター機能を使用したい場合や、本製品をAPモードで使用したほうが、より良い性能を発揮できる場合があります。このような場合は、本製品背面にある「RT/APモード切り替えスイッチ(→P19)」を「APモード」側にして使用してください。

設定に必要なプロバイダー情報を用意する

本製品のウィザード機能は、ご使用になるインターネット回線の種別を自動的に判別しますので、一般的なインターネットサービスをご使用の場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要はありません。

ただし、NTTフレッツサービスなどPPPoE接続を使用している場合は、プロバイダーから提供されるユーザーIDとパスワードが必要になることがあります。また、固定IPサービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

MEMO

APモードでご使用の場合

終端装置に搭載されたルーター機能を使用しているため、本製品をAP(アクセスポイント)モードで利用する場合は、P41「4. 本製品に無線LANで接続する」をお読みください。

プロバイダーの情報について

ご契約のプロバイダーによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダー側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE 接続方式の場合

NTT フレッツサービスのうち「PPPoE 接続」でインターネットに接続するプロバイダーの場合は、ユーザーID とパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
ユーザー名【接続ID】	
認証パスワード【接続パスワード】	

※プロバイダーによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーID に「@」が入っている場合は、プロバイダーから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダー識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE 接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が必要な場合があります。

MEMO

フレッツ光プレミアムなど、別途ルーター機能が用意されている場合

プロバイダーから提供されている終端装置に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP 接続方式の場合

DHCP 接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。本製品のウィザードを使用すれば、インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C 固定IPアドレスの場合

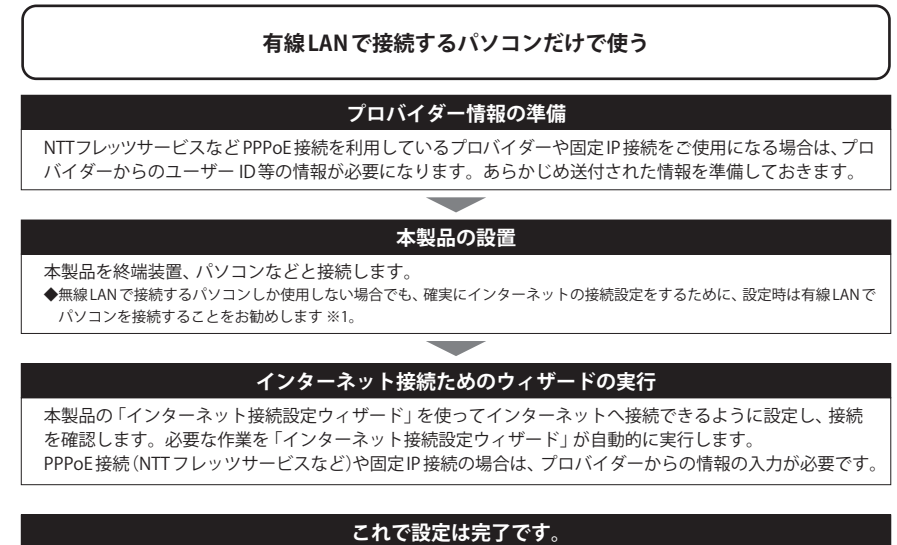
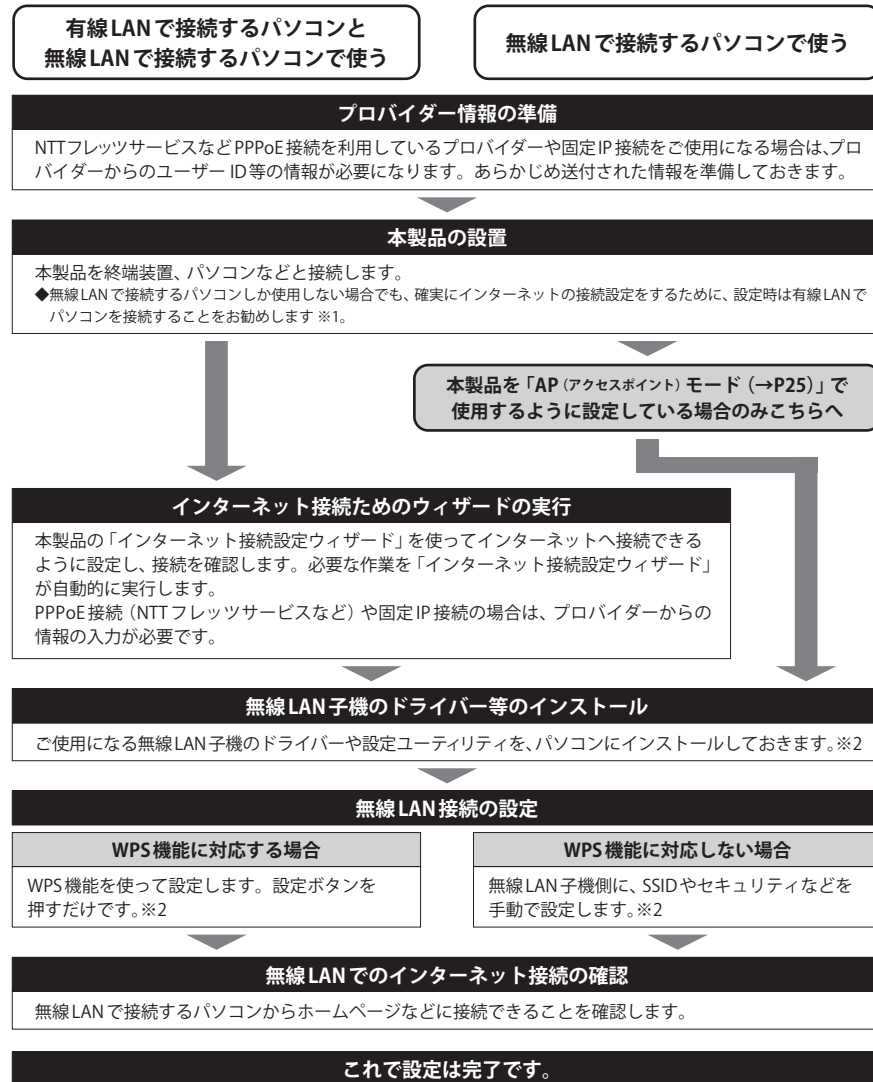
インターネット側のIPアドレス（グローバルIPアドレス）が固定で割り当てられるサービスです。あらかじめお手元にIPアドレス等の情報が書かれた資料をご用意ください。

Chapter 2

接続編

1 セットアップの流れ

ユーザーズマニュアルの説明を利用する場合のセットアップの流れです。



※1 無線 LAN でしか接続しない場合でも、設定時は本製品の設定ユーティリティに接続するために有線 LAN に対応したパソコンをご用意ください。

※2 無線 LAN 子機側の設定については、無線 LAN 子機の説明書をお読みください。

2 本製品を設置する

本製品をブロードバンドモデムなどの終端装置と接続します。

接続の準備をする

1 作業の前に確認します。

□Check 1

●インターネットサービスの契約が完了し、サービスが開始されていることを確認します。

●プロバイダーからの書類を用意します。

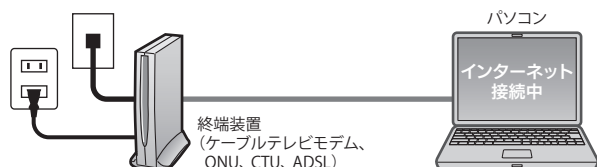
- ご利用のインターネットサービスによっては、ユーザーIDとパスワード(※)を設定する必要があります。あらかじめ、プロバイダーから提供された書類に、これらの記述がないかご確認のうえ、ご用意ください。

※プロバイダーにより、認証ID/ユーザー名、認証パスワード/アクセスキーなど、名称が異なります。

□Check 2

すでに終端装置とパソコンが接続されている場合

すでにルーターを使わずにインターネットに接続している場合は、現在の環境でパソコンからインターネットに接続できているか確認します。



□Check 3

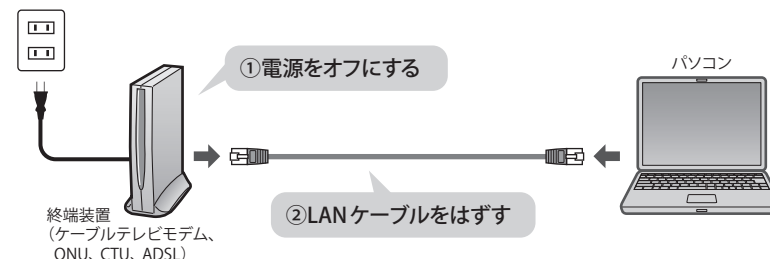
すでに使用中の有線/無線ルーターから「お乗り換え」の場合の確認事項です。

- ご使用中のルーターの設定プログラム(アプリケーション)は、すべて削除します。
- ルーターをご使用でない場合でも、すでにインターネットをご利用の場合、パソコンに「接続ツール」等のプログラムがインストールされている場合があります。これらはすべて削除してください。

※ご不明な点がある場合は、お手持ちのルーターのメーカーにお問い合わせください。

2 作業の前にご利用中の回線をいったんオフにします。

- ① 終端装置(ケーブルテレビモデム、ONU、CTU、ADSL)の電源を切ります。
 - ② パソコンと終端装置を接続したLANケーブルを外します。
 - ケーブルテレビモデムの場合、そのまま10分以上おいてください。
- ※ご契約の回線によっては、1時間以上おいておく必要があります。



注意

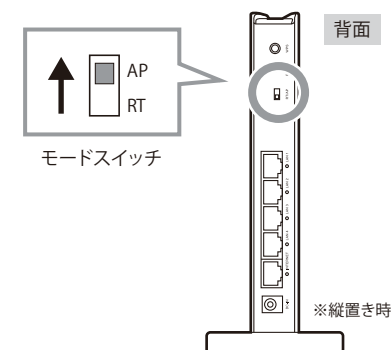
終端装置の電源をいったん切らないと、現在記憶されている接続情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。

本製品を接続する

MEMO

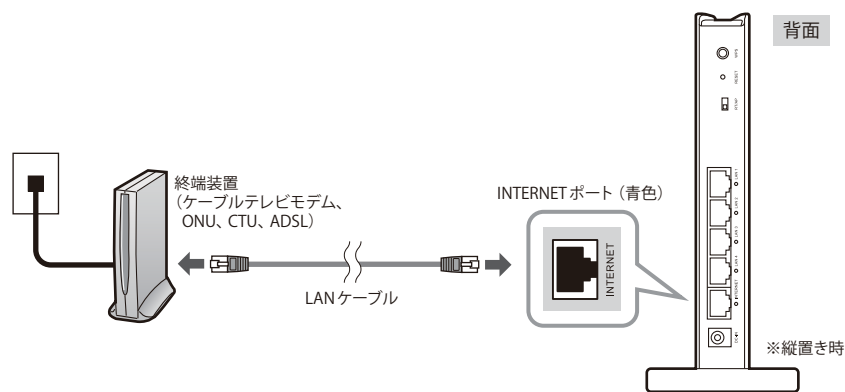
APモードについて

本製品の上にルーターが存在した場合でも、通常は特にモードスイッチを変更することなくご使用いただけますが、ルーター機能を搭載した終端装置を使用したい場合、プロバイダーからAPモードで使用するよう指示があった場合、本製品をAPモードで使ったほうが、より良い性能を発揮できる場合は、接続作業をする前に、本製品の背面にあるモードスイッチを「AP」側に変更してください。

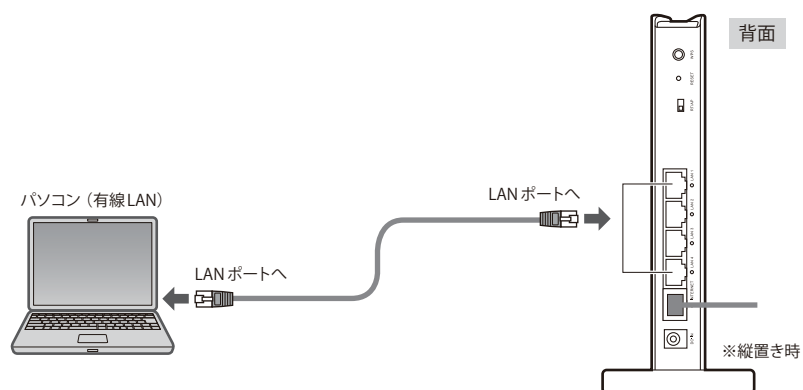


1 機器を接続します。

- イラストを参考に、各機器を配線します。

**MEMO****付属スタンドについて**

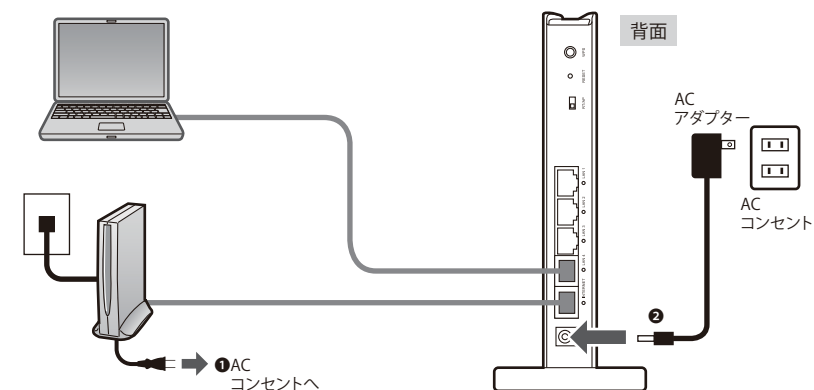
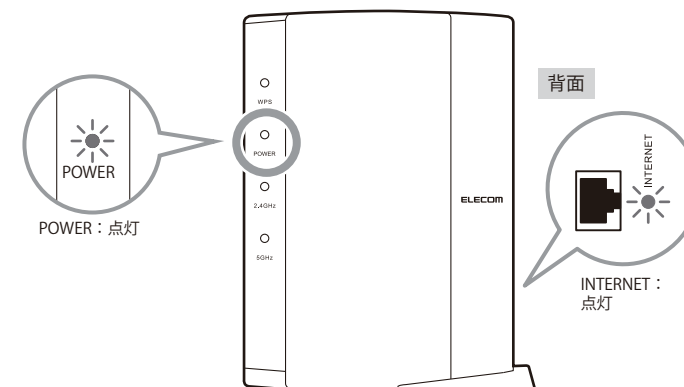
スタンドの取り付け方法の詳細は、P21「設置方法と設置時のご注意」をお読みください。
 スタンドは、ケーブルの接続がすべて終わってから本製品にセットしてください。

2 パソコンと本製品のLAN ポート(4ポートのいずれか)をLAN ケーブルで接続します。**MEMO****有線LANを使わずに、はじめから無線LANで接続したい場合**

P41「4. 本製品に無線LANで接続する」を参考に、無線LAN子機として使用するパソコンから本製品に無線LANで接続してください。

3 終端装置と本製品の電源を入れます。

- 終端装置の電源ケーブルを接続します。
 - 電源スイッチがある場合は、スイッチをオンにします。
- 本製品に付属のACアダプターを接続します。

**4 モデム等のランプおよび本製品のランプが正しく点灯していることを確認します。****5 次ページに進みます。**

3 ウィザードを使ったセットアップ

ここでは、有線LAN経由で本製品のWebブラウザ版の設定ユーティリティにアクセスし、設定ユーティリティ上に用意された「インターネット接続設定ウィザード」を使ってインターネットに接続する手順を説明しています。
本製品へ無線LANで接続する方法については、P41「4. 本製品に無線LANで接続する」をお読みください。

MEMO Web版の設定ユーティリティを使わずに設定する

付属の印刷物「かんたんセットアップガイド」の説明をお読みになると、本製品のWeb版の設定ユーティリティを使わずに無線LAN子機やスマートフォン/タブレットから本製品へ接続したり、インターネットへ接続することができます。特にWeb版の設定ユーティリティを使う必要がない場合は、そちらの手順で設定することをお勧めします。

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンからWebブラウザを使って表示します。

MEMO パソコンはIPアドレスが自動取得になっている必要があります

このマニュアルでは、本製品のDHCPサーバー機能により、パソコンがIPアドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定のIPアドレスを設定している場合は、パソコンのIPアドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品のIPアドレス(初期値) = 192.168.2.1

1 終端装置と本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。

- 順序が逆の場合、パソコン側がIPアドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。

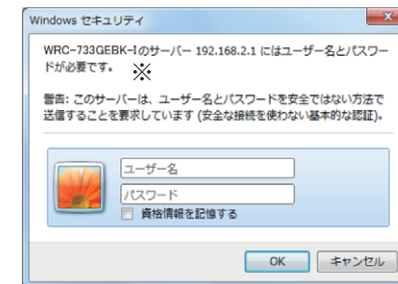
2 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

3 Webブラウザの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



- このIPアドレスは初期値です。すでに本製品のIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入力します。

4 認証画面が表示されます。



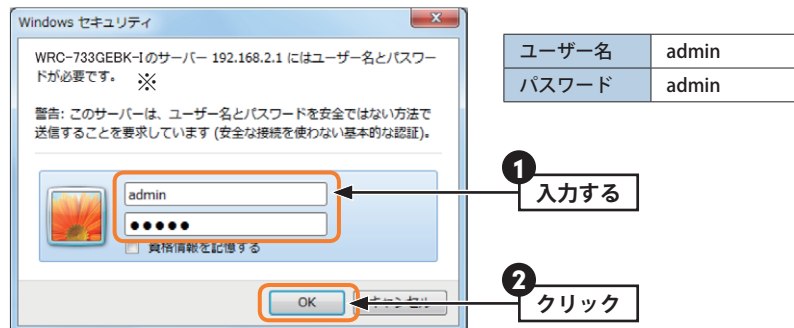
※本部分は各型番により変わります。

MEMO 認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ① 本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。
- ② いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③ 接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください(→P155「8. パソコンのIPアドレスの確認方法」)。

5 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。



※本部分は各型番により変わります。

- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- 次ページ「インターネット接続設定ウィザードでセットアップする」へ進みます。



注意

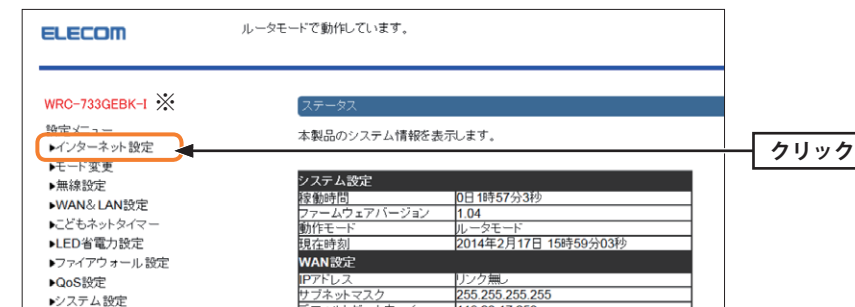
パスワードについて

第三者に設定を変更されたり、悪用されないように、パスワードの変更を強くお勧めします(→P105「パスワード設定 画面」)。

インターネット接続設定ウィザードでセットアップする

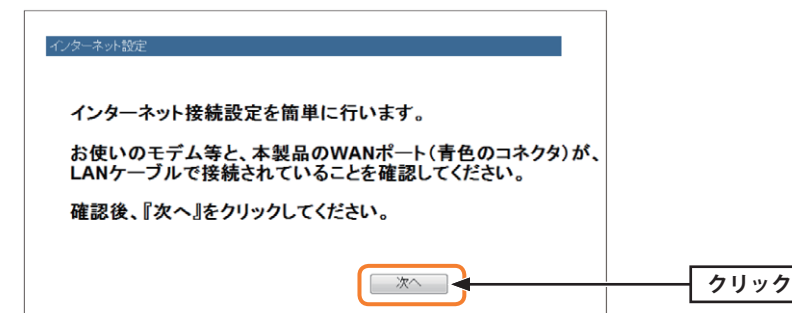
「インターネット接続設定ウィザード」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 画面左のメニューリストから「インターネット設定」を選択します。



※本部分は各型番により変わります。

2 <インターネット設定>画面で「次へ」をクリックします。



- インターネット回線の種別の自動識別が始まります。

3 表示された画面にあわせて、次の説明へ進みます。

●自動的にインターネットへの接続確認が開始した場合 (DHCP 接続)

⇒手順 **5** へ進みます。

●PPPoE 回線の設定画面が表示された場合 ⇒手順 **4a** へ進みます。

お使いの回線は PPPoE 回線です。
ご契約のプロバイダ様から提供されている、
認証ID(ユーザー名)・認証パスワード(パスワード)を入力し、
『次へ』をクリックしてください。
ユーザー名は、' '@'以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名: (最大 57 文字)
パスワード: (最大 57 文字)

●固定 IP の設定画面が表示された場合 ⇒手順 **4b** へ進みます。

お使いの回線は、固定 IP 回線です。ご契約のプロバイダ様から提供されている、
IP アドレス情報を入力し、『次へ』をクリックしてください。
もし違う回線である場合は、配線が間違っている可能性があります。
『戻る』をクリックし、もう一度やり直してください。

固定 IP:
サブネットマスク:
デフォルトゲートウェイ:

●本製品(無線ルーター)の上位にすでに別のルーターが設置されている場合

⇒ をクリックして手順 **5** へ進みます。

本製品の上位にもルータが設置されています。
ここでは、このまま『次へ』をクリックしてインターネットに接続します。

自宅サーバ等、高度なネットワーク技術が必要とする使い方をされる場合、本製品を
AP モードに変更した方が より良い性能が発揮される場合があります。
通常のインターネット接続/ネットゲーム等のご利用の場合は、このままのモードで問題
ありません。

- ・通常は、そのまま変更しなくても正常にインターネットに接続できます。
- ・本製品(無線ルーター)のモードを変更したい場合は、P25「終端装置のタイプについて」をお読みになったうえで、「RT/AP モード切り替えスイッチ」を「AP」側に変更します。

MEMO

その他の画面が表示された場合

「インターネット接続に失敗しました・・・」「WANポートにLANケーブルが接続されていないようです。」などの画面が表示され、インターネットに接続できない場合は、以下のようことが考えられます。

●ケーブル等が正しく接続されていない

ケーブル類が正しく接続されているか、機器の電源が入っているかなどを確認してください。機器の接続方法については、P30「2. 本製品を設置する」をお読みください。

●インターネット回線種別を自動判別できない

接続先の終端装置やご使用の環境によって、まれに本製品の回線判別機能では、回線種別を自動的に判別できない場合があります。このような場合は、P71「WAN 設定 画面」をお読みになり、DHCP/PPPoE/固定 IP の中から、回線種別を選択したうえで、必要な設定をしてください。

4a P26「設定に必要なプロバイダー情報を用意する」でメモした内容をもとに必要な情報を入力し、 をクリックします。

お使いの回線は PPPoE 回線です。
ご契約のプロバイダ様から提供されている、
認証ID(ユーザー名)・認証パスワード(パスワード)を入力し、
『次へ』をクリックしてください。
ユーザー名は、' '@'以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名: (最大 57 文字)
パスワード: (最大 57 文字)

1 入力する
2 クリック

ユーザーIDに「@」が入っている場合
[ユーザー名]の入力において、プロバイダーから提供された「ユーザー名」の後ろに、必ず「@」と「プロバイダー識別子」を入力してください。
(例) userid123@elecom.net
ユーザー名 プロバイダー識別子

4b あらかじめプロバイダーから提供された情報を入力し、**次へ**をクリックします。

お使いの回線は、固定IP回線です。ご契約のプロバイダ様から提供されている、IPアドレス情報を入力し、『次へ』をクリックしてください。
もし違う回線である場合は、配線が間違っている可能性があります。
『戻る』をクリックし、もう一度やり直してください。

固定IP：
サブネットマスク：
デフォルトゲートウェイ：

1 入力する

2 クリック

戻る 次へ

5 インターネットに接続できるか自動的に確認します。その後、インターネットに正常に接続できると、以下の画面が表示されます。

インターネット接続が確認できました！
インターネット接続設定を終了します。
右上の × をクリックし、本画面を閉じてください。

- 画面右上の  をクリックしてブラウザー画面を閉じます。

6 これでインターネットへの接続作業は完了です。引き続き、パソコンと本製品を無線LANで接続する場合は、P41「4. 本製品に無線LANで接続する」へ進みます。

- 本製品の設定のために有線LANで接続していたパソコンを、無線LANで接続するようには、LANケーブルを取り外し、パソコンの無線LAN機能が使用できるように準備しておいてください。

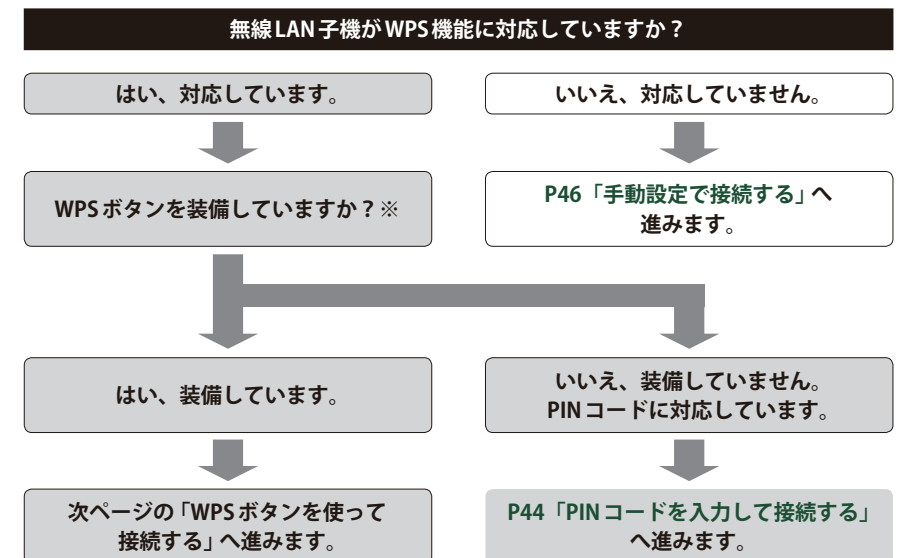
4 本製品に無線LANで接続する

パソコンの無線LAN子機から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品はWPS機能に対応しています。WPS機能に対応する無線LAN子機との組み合わせで簡単に無線LAN機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PINコード方式」の両方に対応しています。

WPS機能に対応していない無線LAN子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線LAN子機側に設定することで接続することができます。

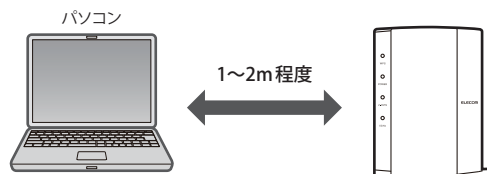


※ WPSボタンについて

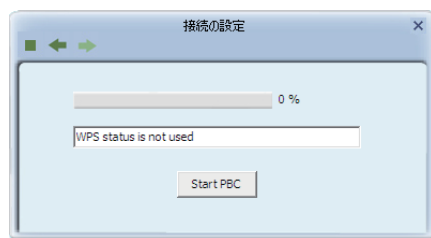
WPSの「プッシュボタン方式」は、無線LAN子機本体に装備されている「WPSボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPSボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPS ボタンを使って接続する

- 1** 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



- 2** 無線 LAN 子機の説明書をお読みにになり、無線 LAN 子機側が「WPS」を実行できるように準備します。



※弊社無線 LAN アダプターの設定ユーティリティの画面例

- 3** 本製品の背面にある「WPS 設定ボタン」を 2 秒以上押して、離します。



- 左側面にある WPS ランプが赤色に点滅し、WPS 対応の無線 LAN 子機の接続を待つ状態になります。WPS ランプの点滅中に接続を完了する必要があります。

MEMO

- 赤色に点灯しない場合は、再度押してください。
- 接続が完了するか、一定時間(約2分間)がすぎると WPS ランプは消灯します。

- 4** 無線 LAN 子機側の WPS 用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

- 本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。
- ユーティリティによっては、[PBC]など、表記が異なることがありますので、無線 LAN 子機の説明書をお読みください。

- 5** 無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどで、本製品に接続できたことを確認します。

- 6** Web ブラウザーからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。



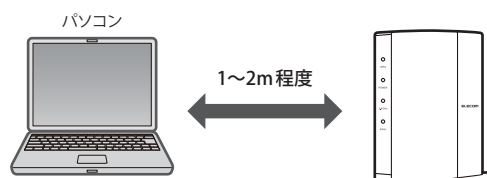
エレコム Web サイト <http://www.elecom.co.jp/>

- 7** これで WPS 機能を使った無線 LAN 子機の設定は完了です。

PINコードを入力して接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。無線LAN子機側に設定されたPINコードを本製品に入力して、WPS機能を実行します。無線親機側のPINコードを使用する場合については、無線LAN子機のマニュアルを参照してください。

- 1** 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



- 2** 無線LAN子機の説明書をお読みにになり、無線LAN子機のPINコードをメモします。

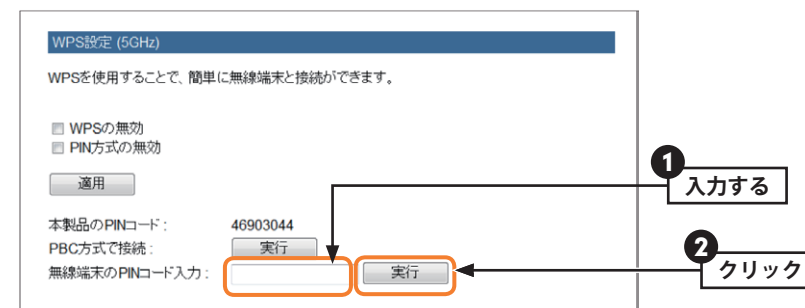
無線LAN子機のPINコード

- 3** 本製品の設定ユーティリティを表示します。

- 設定ユーティリティの表示方法については、P34「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

- 4** 画面左のメニューリストから[無線設定 (2.4GHzまたは5GHz)]→[WPS設定]を選択します。

- 5** [無線端末のPINコード入力]に、無線LAN子機のPINコードを入力し、**適用**をクリックします。



- 6** 設定後、無線LAN子機を搭載したパソコンからインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

手動設定で接続する

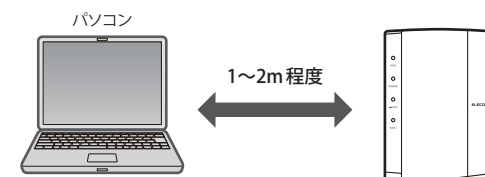
WPS機能を持たない無線LAN子機の場合は、無線LAN子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。本製品の初期値の設定は以下のとおりです。無線LAN子機の説明書と、次ページからの作業の流れを参考にして、本製品の設定値を無線LAN子機側に設定してください。

項目	本製品の設定値(初期値)
SSID	2.4G SSID : elecom2g-XXXXXX ※1 5G SSID : elecom5g-XXXXXX ※1※2 こどもネット SSID (2.4G 専用) : e-timer-XXXXXX ※1 ※1 Xは、任意の英数字(0~9、a~f)です。 ※2 WRC-300GHBK2-Iは対応しておりません。
認証方式※	WPA プレシェードキー
暗号化方式	AES
WPAユニキャスト暗号スイート	WPA2-PSK (AES)
共有キーフォーマット	パスフレーズ
暗号キー	本製品に付属の設定情報シート、または本製品の底面にある暗号キーラベルをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ●設定情報シート (WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-Iの場合) (WRC-300GHBK2-Iの場合) ●暗号キーラベル (WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-Iの場合) (WRC-300GHBK2-Iの場合) KEY記入欄

MEMO

- 認証方式として、WEPにしか対応していない携帯用ゲーム機のWi-Fi接続や「こどもネットタイマー」において、WEPによる暗号化機能の利用が可能になる「WEP」もご用意しています(→P60「4.セキュリティを設定する(無線の暗号化)」参照)。
- 左記の本製品の初期値にあわせ、設定情報シートまたは暗号キーラベル上の暗号キーを利用する場合は、本製品の設定ユーティリティを使わずに、無線LAN子機の設定をおこなうだけで本製品に接続することができます。

1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。



2 無線LAN子機の設定ユーティリティを起動します。

- OS標準の無線LAN機能の場合も、SSIDの一覧を表示させます。

3 設定ユーティリティのリスト上に表示されたSSIDの中から、設定情報シートに記載されたSSIDを選択します。

●WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-Iの場合



●WRC-300GHBK2-Iの場合



- elecom2g-XXXXXX は「11n/g/b」用です。elecom5g-XXXXXX は「11ac/n/a」用です。Xには、0~9、a~fで構成されたランダムな半角英数字が表示されます。
- こどもネットSSIDは、お子様のインターネットへの接続を制限する「こどもネットタイマー機能」用のSSIDです。ここでは関係ありません。

MEMO

SSIDを自動的に検出できない場合は、手動で無線LAN子機の設定ユーティリティにある「SSID」に設定情報シートのSSIDを半角英数字で入力します。

- 4** 無線LAN子機の設定ユーティリティにある[暗号化]に関する設定画面を表示します。
- 5** 無線LAN子機の説明書をお読みになり、本製品の設定内容を無線LAN子機側に設定します。
 - 本製品の暗号化方式と暗号キーは、設定情報シートに記載されています。
- 6** 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

Chapter 3

詳細設定編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンから Web ブラウザーを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

MEMO

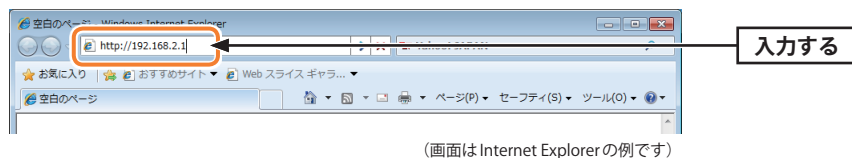
スマートフォン/タブレットから設定ユーティリティを表示する

パソコンを使わずにスマートフォンやタブレットから設定ユーティリティを使用することができます。詳しくは、P148「5. スマホ/タブレットからの詳細設定」をお読みください。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 Internet ExplorerなどのWeb ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーの[アドレス]欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。

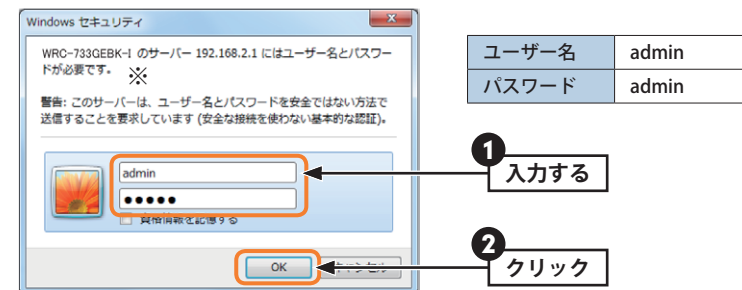


MEMO

認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IP アドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待つてから、パソコンの電源を入れてください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。



※本部分は各型番により変わります。

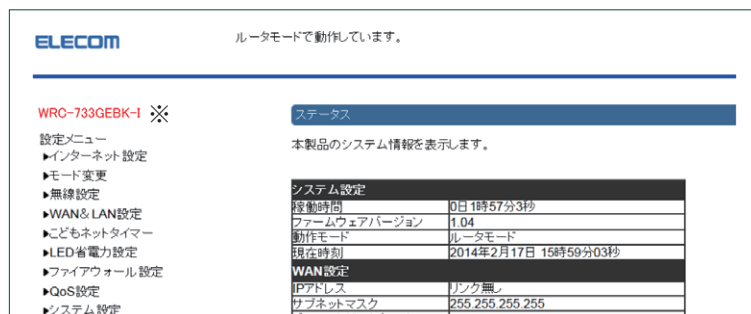
- ・初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- ・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- ・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。



第三者に設定を変更されたり、悪用されないように、パスワードの変更を強くお勧めします(→P105「パスワード設定画面」)。

設定ユーティリティ画面の内容

設定ユーティリティにある各画面の概要を説明します。



※本部分は各型番により変わります。

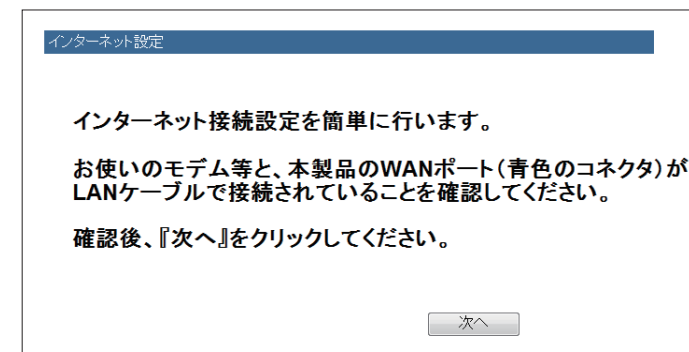
メニュー項目	内容
インターネット設定	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。(→P53)
無線LAN設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。2.4GHz帯と5GHz帯のそれぞれに基本設定(→P54・P57)、暗号化設定(→P60)、WPS設定(→P59)、があります。
WAN & LAN設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN設定(→P69)、WAN設定(→P73)があります。
こどもネットタイマー	専用の接続ID「こどもネットSSID」を使用し、タイマー設定することで、ゲーム機をはじめ各種Wi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができるメニューです。(→P82)
LED省電力設定	本製品のランプを消灯して消費電力を抑える「LED省電力モード」を選択できます。[LED省電力機能]で「有効」を選択すると、「LED省電力モード」になります。(→P89)
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。アクセスコントロール(→P90)、ポートフォワーディング(→P93)、URLフィルタリング(→P96)、DMZ(→P98)があります。
QoS	全体の帯域のうち、特定のサービスに一定の帯域を確保できる「QoS」機能を設定できます(→P99)。
システム	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P101)、ファームウェア更新(→P107)、設定保存と読込(→P103)、パスワード設定(→P105)があります。

2 インターネット設定

インターネットに接続するために必要な設定をおこなう画面です。インターネット接続設定ウィザードの操作手順は、P37「インターネット接続設定ウィザードでセットアップする」をお読みください。

画面の表示

画面左のメニューリストから[インターネット設定]を選択します。



3 無線設定

本製品の無線LAN機能を設定します。

基本設定(2.4GHz 帯[11n/g/b]の場合)

MEMO

5GHz 帯[11ac]の設定については、P57「基本設定(5GHz 帯[11ac/11an]の場合)」をお読みください。

画面の表示

画面左のメニューリストから[無線設定(2.4GHz)]→[基本設定]を選択します。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

こどもネット SSID	専用の接続ID「こどもネット SSID」を使用し、タイマー設定することで、ゲーム機をはじめ各種 Wi-Fi 機器から本製品への Wi-Fi 接続時間を制限することができます。設定方法については P55「こどもネット SSID の設定」をお読みください。(初期値：e-timer-XXXXXX ^{※1})
マルチ SSID	「マルチ SSID」を使用し、ゲーム機用の SSID やゲスト用の SSID などを設定することができます。設定方法については P56「マルチ SSID の設定」をお読みください。(初期値：無効)

2.4G SSID	無線 LAN で使用する SSID を入力します。(初期値：elecom2g-XXXXXX ^{※1})
チャンネル幅	11n 規格でのチャンネル幅を設定します。11n 対応の無線クライアントと接続する場合、「Auto 20/40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線 LAN との干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Auto または 1～13ch から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は 5 チャンネル以上離してください。Auto を選択すると、自動でチャンネルが設定されます。(例) 1ch/6ch/11ch
SSID ステルス機能	「無効」の場合は、無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定した SSID を確認することができます。「有効」にした場合は、無線 LAN 子機側の設定ユーティリティなどで、本製品の SSID を表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSID を第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値：無効)
送信パワー	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。(初期値：100%)

※1：X は 0～9・a～f で構成されたランダムな半角英数字です。

こどもネット SSID の設定

「こどもネットタイマー」機能は、専用の接続 ID「こどもネット SSID」を使用し、タイマー設定することで、Wi-Fi ゲーム機などから本製品への無線による接続時間を制限できる機能です。

こどもネットタイマーの設定方法については、P82「6. こどもネットタイマーの設定」をお読みください。

- 1 [無線設定]の〈基本設定〉画面を表示します。
- 2 「こどもネット SSID」をクリックします。
- 3 [有効]を選択します。
- 4 SSID を入力します。初期値では「e-timer-XXXXXX」が登録されています。
- 5 必要に応じて、[SSID ステルス機能]を設定します(P55の一覧表参照)。
- 6 「適用」をクリックします。このあとの操作は P54「設定を変更した場合」をお読みください。

マルチSSIDの設定

「マルチSSID」機能は、1台の無線アクセスポイントで複数のSSIDを管理する機能です。パソコンとゲーム機のSSIDを分けることで、パソコン側は強力な暗号を設定しつつ、ゲーム機のWi-Fi通信を行うなどの設定をすることができます。

- 1 [無線設定]の2.4GHz<基本設定>画面を表示します。
- 2 [マルチSSID]をクリックします。
- 3 マルチSSID1、またはマルチSSID2の[使用します]をチェックします。
- 4 SSID1、またはSSID2を入力します。
- 5 必要に応じて、[SSIDステルス機能]を設定します(P55の一覧表参照)。
- 6 [適用]をクリックします。このあとの操作はP54「設定を変更した場合」をお読みください。

MEMO

マルチSSIDの追加を行った場合、続けてP60「セキュリティを設定する(無線の暗号化)」をお読みいただき、無線の暗号化を行った上でご利用ください。

基本設定(5GHz帯[11ac/11a/n]の場合)

※WRC-300GHBK2-Iは対応していません。

MEMO

2.4GHz帯[11n/g/b]の設定については、P54「基本設定(2.4GHz帯[11n/g/b]の場合)」をお読みください。

画面の表示

画面左のメニューリストから[無線設定(5GHz)]→[基本設定]を選択します。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず[適用]をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は[戻る]を、変更した内容をすぐに有効にする場合は[更新]をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

マルチSSID	「マルチSSID」を使用し、ゲーム機用のSSIDやゲスト用のSSIDなどを設定することができます。 設定方法についてはP56「マルチSSIDの設定」をお読みください。(初期値：無効)。
5G SSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。(初期値：elecom5g-XXXXXX ^{*1})
チャンネル幅	11ac規格でのチャンネル幅を設定します。11ac対応の無線クライアントと接続する場合、「Auto 80/40/20MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル	以下の中から、使用するチャンネルを選択します。 Auto、ch 36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140 ※「ch 132」と「ch 136」では80MHzは使用できません。「ch 140」では80/40MHzは使用できません。
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「有効」にした場合は、無線LAN子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。(初期値：無効)

送信出力

電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。(初期値：100%)

※1：Xは0～9・a～fで構成されたランダムな半角英数字です。

マルチSSIDの設定

「マルチSSID」機能は、1台の無線アクセスポイントで複数のSSIDを管理する機能です。パソコンとゲーム機のSSIDを分けることで、パソコン側は強力な暗号を設定しつつ、ゲーム機のWi-Fi通信を行うなどの設定をすることができます。

基本設定 (5GHz)

Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

マルチSSID 1: ☐ 使用します
SSID 1: (最大32文字、半角英数字のみ)
SSIDステルス機能: 無効 ▼

マルチSSID 2: ☐ 使用します
SSID 2: (最大32文字、半角英数字のみ)
SSIDステルス機能: 無効 ▼

適用

- 1 [無線設定]の5GHz<基本設定>画面を表示します。
- 2 マルチSSID をクリックします。
- 3 マルチSSID1、またはマルチSSID2の[使用します]をチェックします。
- 4 SSID1、またはSSID2を入力します。
- 5 必要に応じて、[SSIDステルス機能]を設定します(P57の一覧表参照)。
- 6 適用 をクリックします。このあとの操作はP57「設定を変更した場合」をお読みください。

MEMO

マルチSSIDの追加を行った場合、続けてP60「セキュリティを設定する(無線の暗号化)」をお読みいただき、無線の暗号化を行った上でご利用ください。

WPS 設定

WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能の設定をします。

画面の表示

画面左のメニューリストから[無線設定(2.4GHzまたは5GHz)]→[WPS設定]を選択します。

WPS設定 (2.4GHz)

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

☐ WPSの無効
☐ PIN方式の無効

適用

本製品のPINコード: 46903044
PBC方式で接続: 実行
無線端末のPINコード入力: 実行

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

WPSの無効	WPS 機能を無効にする場合にチェックします。(初期値：オフ)
PIN 方式の無効	PIN 方式を無効にする場合にチェックします。(初期値：オフ)
本製品のPINコード	本製品のPINコードを表示します。
PBC方式で接続	適用 をクリックすることで、WPS機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS設定ボタン」を押すのと同じことです。
無線端末のPINコード入力	本製品側で無線LAN子機のPINコードにあわせる場合に、ここに無線LAN子機側のPINコードを入力し、適用 をクリックします。

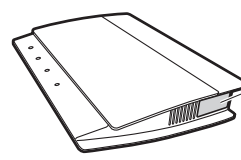
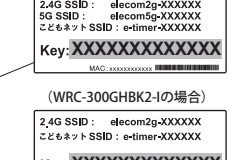
4 セキュリティを設定する(無線の暗号化)

無線LANで使用するデータの暗号化など、セキュリティの設定方法について説明します。

●本製品で設定可能な暗号化セキュリティ機能

WPA プレシェードキー	データの暗号化だけでなく認証機能も含まれた二重のセキュリティ機能です。WEP よりも高度な暗号化方式で、パソコンを使う無線LANのセキュリティ機能の主流となっています。 本製品では、WPA2-PSK (AES) が使用できます。
WEP	無線LANの普及期からある暗号化方式です。本製品は64bitと128bitの2種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN環境で「WPA プレシェードキー」が使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。 ※ WEP にしか対応していない携帯用ゲーム機のWi-Fi接続や「こどもネットタイマー」において、WEP による暗号化機能を利用する場合は、こちらをご使用ください。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

項目	本製品の設定値(初期値)
SSID	2.4G SSID : elecom2g-XXXXXX 5G SSID : elecom5g-XXXXXX こどもネット SSID (2.4G 専用) : e-timer-XXXXXX ※ X は、任意の英数字(0～9、a～f)です。
認証方式	WPA プレシェードキー (WPA-PSK)
暗号化方式	AES
WPA ユニキャスト暗号スイート	WPA2-PSK (AES)
共有キーフォーマット	パスフレーズ
暗号キー	本製品に付属の設定情報シート、または本製品の底面にある暗号キーラベルをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ●設定情報シート (WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-Iの場合)  (WRC-300GHBK2-Iの場合)  暗号キー (Xには、0～9、A～Hのランダムな半角英数字13文字が入ります) ●暗号キーラベル (WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-Iの場合)  (WRC-300GHBK2-Iの場合)  暗号キー (Xには、0～9、A～Hのランダムな半角英数字13文字が入ります) KEY記入欄

WPA-PSK の設定

WPA プレシェードキー (WPA-PSK) を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSKは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。



本製品および本製品に接続する、すべての無線LAN子機は、無線LANに関する各項目の設定値が同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LAN子機から本製品にアクセスすることはできません。



画面左のメニューリストから[無線設定 (2.4GHzまたは5GHz)]→[暗号化設定]を選択します。

暗号化設定 (2.4GHz)

Wi-Fi (無線LAN) 通信の暗号化を設定します。

SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX

認証方式: WPA Pre-Shared Key

暗号方式: WPA2 AES

キーの種類: パスフレーズ(8~63文字)

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

適用

※ 2.4GHz の設定画面を例に説明していますが、5GHz でも設定方法は同様です。

1 [SSIDの選択] で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。

SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX

認証方式: elecom2g-XXXXXX

暗号方式: e-timer-XXXXXX

キーの種類: WPA2 AES

パスワードの表示: ☐

選択する

2 [認証方式] で、「WPA Pre-Shared Key」を選択します。

SSIDの選択: elecom2g-XXXXXX

認証方式: WPA Pre-Shared Key

暗号方式: なし

キーの種類: WEP

暗号キー:

選択する

3 [暗号方式] で、暗号化の種別を選択します。

認証方式: WPA Pre-Shared Key

暗号方式: WPA2 AES

キーの種類: WPA2 AES

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

選択する

MEMO

ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。本製品はWPA-PSK の場合は「TKIP」のみになります。

WPA (TKIP)	WPA-PSK のうち暗号化形式に「TKIP」を使用します。本製品はWPA-PSK については「AES」を選択できません。
WPA2 (AES)	WPA2-PSK のうち暗号化形式に「AES」を使用します。
WPA2 Mixed	無線子機にWPA-PSK (「AES」または「TKIP」) とWPA2-PSK (「AES」または「TKIP」) が混在している場合でも、この項目を選択しておくといずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK (TKIP)」の場合も、こちらを選択します。

4 [キーの種類] で暗号化キーの入力形式を選択します。

暗号方式: WPA2 AES

キーの種類: パスフレーズ(8~63文字)

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

選択する

パスフレーズ(8~63文字)	半角英数字(8~63文字)を使用できます。
Hex (64文字)	16進数64文字(固定)を使用できます。

※ 16進数とは、半角英数字の0~9、a~fを組み合わせた文字列です。

5 [暗号キー]に、手順 4 で選択した入力形式で文字列を入力します。

6 すべての設定が終われば [適用] をクリックします。

7 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。 [更新] をクリックします。

- 他の設定を続ける場合→ [戻る] をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→ [更新] をクリックし、手順 8 へ進みます。

8 待ち時間が表示され、しばらくすると自動的に<ステータス>画面が表示されます。

9 これで本製品のセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線LAN子機側にも設定してください。

- ・無線LAN子機側の設定方法は、無線LAN子機のマニュアルをお読みください

WEP の設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。
ニンテンドーDS LiteなどWEPにしか対応していない機器を接続される場合は、こちらをご使用ください。



本製品および本製品に接続する、すべての無線LAN子機は、無線LANに関する各項目の設定値が同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LAN子機から本製品にアクセスすることはできません。



画面左のメニューリストから[無線設定(2.4GHz)]→[暗号化設定]を選択します。

1 [SSIDの選択]で、「e-timer-XXXXXX」を選択します。

※Xは任意の英数字(0～9、a～f)です。

2 [認証方式]で、「WEP」を選択します。

3 [キー長]で、bit数を選択します。通常は128bitを選択します。

MEMO

ご使用になる無線子機が64bitにしか対応していない場合などは、64bitを選択します。ご使用になる無線子機に1台でも64bitにしか対応していないものがある場合は、64bitしか使用できません。なお、64bitはセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

4 [キーフォーマット]で暗号化キーの入力形式を選択します。

• ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII (5 文字)	キー長で64bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字5文字を入力します。
ASCII (13 文字)	キー長で128bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字13文字を入力します。
Hex (10 文字)	キー長で64bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、16進数10文字を入力します。
Hex (26 文字)	1 キー長で128bitを選択した場合です。[暗号化キー]に、16進数26文字を入力します。

※ 16進数とは、半角英数字の0～9、a～fを組み合わせた文字列です。

5 [初期送信キー]は、[キー1]以外は使用できません。[キー1]が選択されていることを確認し、そのまま手順**6**へ進みます。

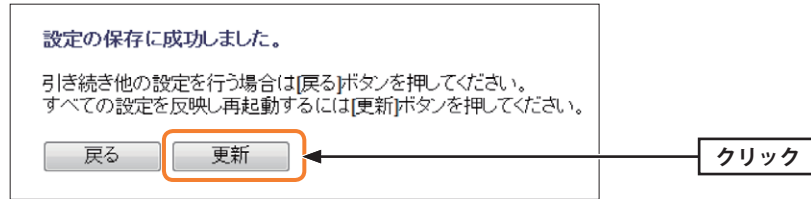
6 手順**4**で選択した文字入力形式で、[暗号キー1]～[暗号キー4]すべてに、同じ文字列を入力します。

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

• 本製品では、4つの暗号キーの入力欄に、すべて同じ文字列を入力する必要があります。文字列が入力されていない暗号キーや、入力欄ごとに異なる文字列を入力した場合は、正常に使用できません。

7 「すべての設定が終われば」[適用]をクリックします。

- 8** 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。**更新** をクリックします。



- 他の設定を続ける場合→ **戻る** をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→ **更新** をクリックし、手順 **9** へ進みます。

- 9** 待ち時間が表示され、しばらくすると自動的に<ステータス>画面が表示されます。

- 10** これで本製品のセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線LAN子機側にも設定してください。

- ・無線LAN子機側の設定方法は、無線LAN子機のマニュアルをお読みください

5 WAN&LAN 設定

有線のLANポートおよびINTERNETポートに関する設定などをします。

LAN 設定 画面

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

画面の表示

画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[LAN設定]を選択します。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

IP アドレス	本製品のLAN側のIPアドレスです。 初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
DHCP 範囲	DHCPサーバー機能を利用する場合、DHCPサーバーがクライアントに自動的に割り付けるIPアドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントにIPアドレスが自動的に割り当てられます。 [接続端末の表示]をクリックすると、接続中のDHCPクライアントのリストが別ウィンドウで表示されます。

DHCP リース時間	DHCPサーバーによりクライアントに割り当てられるIPアドレスのリース時間を設定します。「通常」に設定した場合、クライアントには継続的に同じIPアドレスが割り当てられます。
------------	--

固定 DHCP 設定 画面

DHCPサーバー機能を有効にしている場合、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定のIPアドレスを割り当てたい場合があります。クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連付けて登録することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[LAN設定]→[固定DHCP設定]を選択します。

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大 50 です。

☐ 固定DHCPの有効

IPアドレス： (記入例：192.168.2.100)

MACアドレス： (記入例：0090fe0123ab)

コメント： (最大19文字、半角英数のみ)

追加

固定DHCPリスト：

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択して削除 全てを削除			

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

固定DHCPを有効	この項目をチェックしている場合に、固定DHCPリストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていてもIPアドレスは固定されません。
IPアドレス	クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。
MACアドレス	IPアドレスを固定するクライアントのMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●固定DHCPリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

追加	リストに新たにIPアドレスを固定するクライアントを追加します。
選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全てを削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

固定 DHCP の設定

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。登録できる端末は、最大 50 です。

☒ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大19文字、半角英数のみ)

追加

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
192.168.2.131	123456789012	sales-team01	☐

選択して削除 全てを削除

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

- 1 [固定DHCPを有効にする]をチェックします。
- 2 クライアントに割り当てたいIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 123456789012
- 4 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- 5 **追加** をクリックします。固定DHCPリストにクライアントが追加されます。
- 6 登録するクライアントが複数ある場合は、2～5を繰り返します。

WAN 設定 画面

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。[WANアクセスタイプ]で、DHCP・PPPoE・PPPoE マルチセッション・固定IP のいずれを選択するかで、設定画面が異なります。

画面の表示

画面左のメニューリストから **[WAN&LAN 設定]** → **[WAN 設定]** を選択します。

●「DHCP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ:

ホスト名: (最大 30 文字)

MTUサイズ: (1400-1500 バイト)

☒ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する

☐ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)

DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)

デフォルトゲートウェイ:

MACアドレスコピー: (接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☒ UPnPを有効にする。

☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

☒ IPv6 ブリッジを有効にする。

☒ HW NATを有効にする

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ホスト名	ルーターのホスト名を設定することができます。
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1500)
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する	プロバイダーより自動的にDNSサーバーのアドレスを取得する場合に選択します。プロバイダーより特に指示がない場合は、こちらを選択します。
次のDNSサーバーを使用する	プロバイダーからDNSサーバーを使用するように指示があった場合に選択します。DNSが1個の場合は「DNS 1」に、2個の場合は「DNS 1」と「DNS 2」にアドレスを入力します。
DNS 1	プロバイダーからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダーからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリのDNSアドレスを入力します。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダーから提供されたデフォルトゲートウェイを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使います。 手動で入力する場合は「手動追加」をクリックしてから入力します。 「コピー」をクリックすると、設定ユーティリティに接続しているパソコンのMACアドレスがWAN側のMACアドレスとして使用されます。プロバイダーに登録されているMACアドレスを持つパソコンから実行してください。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値: 有効)
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。(初期値: 無効)
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値: 有効)。
HW NATを有効にする	有効にすると、本製品の通信をハードウェアで処理することで、インターネットとパソコン・スマホなどの間の通信スループットを高速化することができます。(初期値: 有効)

●「PPPoE」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ: PPPoE

ユーザー名: (最大 57 文字)

パスワード: (最大 57 文字)

パスワードの表示: ☒

MTUサイズ: (1360-1492 バイト)

デフォルトゲートウェイ:

☒ UPnPを有効にする。
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。
☒ IPv6ブリッジを有効にする。
☒ HW NATを有効にする
☐ PPPoEのバースルーを有効にする

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ユーザー名	プロバイダーより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>user1D123</u> @ <u>elecom.net</u> ユーザー名 プロバイダー識別子
パスワード	プロバイダーより提供されたパスワードを入力します。 [パスワードの表示]をオンにすると、入力したパスワードを表示できます。(初期値: オン)
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1454)
デフォルトゲートウェイ	プロバイダーから提供されたデフォルトゲートウェイを入力します。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値: 有効)

WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN（インターネット）側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。（初期値：無効）
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。（初期値：有効）
HW NATを有効にする	有効にすると、本製品の通信をハードウェアで処理することで、インターネットとパソコン・スマホなどの間の通信スループットを高速化することができます。（初期値：有効）
PPPoEのパススルーを有効にする	この機能を有効にすると、ルーターを経由して複数のパソコンがPPPoE接続でインターネットを楽しめるのと同時に、特定のパソコンから別のPPPoE接続で、フレッツサービス情報サイトのようなコンテンツを楽しむことができます。（初期値：無効）

●「PPPoEマルチセッション」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ：

PPPoEマルチセッション

PPPoE 1: 通常接続用

ユーザー名：

userID123@elecom.net

 (最大 57 文字)

パスワード：

12345678901

 (最大 57 文字)

パスワードの表示：☒

MTUサイズ：

1454

 (1360-1492 バイト)

PPPoE 2: NTTフレッツ東日本サービス用

ユーザー名：

guest@flets

 (最大 57 文字)

パスワード：

guest

 (最大 57 文字)

パスワードの表示：☒

MTUサイズ：

1454

 (1360-1492 バイト)

デフォルトゲートウェイ：

☒ UPnPを有効にする。☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。☒ IPv6ブリッジを有効にする。☒ HW NATを有効にする

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

PPPoE 1：通常接続用	
ユーザー名	プロバイダーより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とで契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 (例) userID123 @ elecom.net ユーザー名 プロバイダー識別子
パスワード	プロバイダーより提供されたパスワードを入力します。 [パスワードの表示]をオンにすると、入力したパスワードを表示できます。（初期値：オン）
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）
PPPoE 2：NTT フレッツ東日本サービス用	
ユーザー名	プロバイダーより提供されたユーザー名を入力します。 ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とで契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 (例) userID123 @ elecom.net ユーザー名 プロバイダー識別子
パスワード	プロバイダーより提供されたパスワードを入力します。 [パスワードの表示]をオンにすると、入力したパスワードを表示できます。（初期値：オン）
MTU 値	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）
デフォルトゲートウェイ	プロバイダーから提供されたデフォルトゲートウェイを入力します。
UPnPを有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。（初期値：有効）
WAN側からのpingに対する応答を有効にする	WAN（インターネット）側からのpingに対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN側からのpingに対して応答します。（初期値：無効）
IPv6ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。（初期値：有効）
HW NATを有効にする	有効にすると、本製品の通信をハードウェアで処理することで、インターネットとパソコン・スマホなどの間の通信スループットを高速化することができます。（初期値：有効）

●「固定 IP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ：

固定IP

固定IP：

172.1.1.1

サブネットマスク：

255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ：

MTUサイズ：

1500

(1400-1500 / バイト)

DNS 1：

(記入例：192.168.5.44)

DNS 2：

(記入例：192.168.5.43)

MACアドレスコピー：

手動追加

コピー

(接続中のPCからMACアドレスをコピー)

☒ UPnPを有効にする。

☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

☒ IPv6 ブリッジを有効にする。

☒ HW NATを有効にする

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

固定 IP	プロバイダーから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1500)
DNS 1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリの DNS アドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使します。 手動で入力する場合は 手動追加 をクリックしてから入力します。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティに接続しているパソコンの MAC アドレスが WAN 側の MAC アドレスとして使用されます。プロバイダーに登録されている MAC アドレスを持つパソコンから実行してください。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：有効)
WAN 側からの ping に対する応答を有効にする	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)
IPv6 ブリッジを有効にする	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。(初期値：有効)。
HW NAT を有効にする	有効にすると、本製品の通信をハードウェアで処理することで、インターネットとパソコン・スマホなどの間の通信スループットを高速化することができます。(初期値：有効)

78

79

DDNS 画面

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミック DNS のサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミック DNS はサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

あらかじめ DDNS サービスに登録しておいてください

DDNS サイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

DDNS サービスを利用するにあたって

- DDNS サービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。
- Clear-net (クリアネットサービス) とは、グループ会社ロジテックの対象製品をユーザ登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミック DNS サービスです。クリアネットサービスへの登録については、ロジテックのホームページで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。
- DDNS サービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合もあります。更新期間などの詳細はご利用になる DDNS サイトをご覧ください。

画面の表示

画面左のメニューリストから [WAN&LAN 設定] → [WAN 設定] → [DDNS] を選択します。

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [戻る] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [更新] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

● 設定の内容

DDNS	ダイナミック DNS を利用する場合は「有効」を選択します。
サービスプロバイダー	リストから登録したサービスを選択します。
ドメイン	登録したドメイン名を入力します。
ユーザ名 ID	登録したアカウントを入力します。DDNS サービスによってはアカウントが E メールアドレスの場合があります。
パスワード	設定したパスワードを入力します。

6 こどもネットタイマーの設定

「こどもネットタイマー」機能の各種設定方法について説明します。

こどもネットタイマーでできること

「こどもネットタイマー」機能は、専用の接続ID「こどもネットSSID」を使用したWi-Fi 機器に対して、タイマー設定することでWi-Fi機器から本製品へのWi-Fi接続時間を制限することができる機能です。お子様のWi-Fiゲーム機の利用時間を制限したい場合になどにお勧めです。

MEMO

パソコンを使わずにスマートフォン/タブレットからも設定できます。設定方法については、本製品に付属の印刷物「補足編」をお読みください。

MEMO

- 接続時間の制限方法は、1 日の決められた時間のみ接続を許可する「スケジュール設定」と、1 日あたりのWi-Fi 接続時間の上限を設定できる「タイマー設定」の2 種類があります。
- 機器ごとに接続制限設定が可能です。時間外または累計時間が過ぎた時点でWi-Fi接続ができなくなります。
※ 接続する機器によっては、制限された時間を超えてもWi-Fi接続が切断されない場合がありますが、この場合でもインターネットへの接続はできなくなります。
- Wi-Fiゲーム機をはじめスマートフォンやタブレット、パソコンなどのWi-Fi機器にも設定できます。
- 「こどもネットSSID」を使用するWi-Fi 機器に対してWPS機能を使って接続できます。
- 設定はスマートフォン/タブレットやパソコンから可能です。
- RT モード時のみご利用いただけます。
- クライアントとの通信環境が悪い場合、正常に接続制限機能が作動しないことがあります。
- 設定を削除したい場合は、Wi-Fi機器側のプロファイルを削除してから本製品側で設定の削除をおこなってください。



- こどもネットタイマー機能を利用する場合は、WPS 機能を使って通常のSSID 接続に変更されてしまうことを防ぐために、本機能設定後に本製品のWPS機能を無効にすることをお勧めします。
- ニンテンドーDS Lite など、暗号機能がWEP にしか対応していない機器を接続される場合は、こどもネットタイマーSSID「e-timer-XXXXXX」の暗号機能の初期値を、あらかじめ「WPA2-AES」から「WEP」に変更してください。(→ P60 「4. セキュリティを設定する(無線の暗号化)」)



画面左のメニューリストから[こどもネットタイマー]を選択します。

こどもネットタイマー

☒有効 ☐無効

こどもネットタイマーで使用する機能を選択してください。

※2つの機能を同時に使用することはできません。

☐タイマー機能 ☐スケジュール機能

適用

●設定の内容

有効／無効	こどもネットタイマー機能を有効または無効にすることができます。無効にすると、[無線設定]の基本設定にて「こどもネットSSID」のボタン利用がなくなり、こどもネット用のSSID「e-timer-XXXXXX」は使えなくなります。(初期値：有効)
タイマー設定	毎日(0:00～24:00)、タイマー設定の時間分だけWi-Fi接続を可能にする設定方法です。 例えば3 時間と設定した場合、1 日の接続時間が累計で3 時間を超えると通信できなくなります。 タイマー機能の設定方法については、P84「タイマー機能 画面」をお読みください。 ※作動中にルーター本体(本製品)を再起動するとタイマーがリセットされます。
スケジュール機能	決められた時間のみWi-Fi接続を可能にする設定方法です。毎日、平日(月～金)、休日(土日)から選べます。 スケジュール機能の設定方法については、P86「スケジュール機能 画面」をお読みください。



タイマー機能とスケジュール機能を同時に使用することはできません。

タイマー機能 画面

画面の表示

画面左のメニューリストから[こどもネットタイマー]→[タイマー機能]を選択します。

タイマー機能

こどもSSIDクライアント一覧

機器名称	MACアドレス	残り時間	タイマー	選択
ゲーム機1	94:ce:2c:68:23:19	01:00	スタート	☐

1日に接続できる時間を選択してください。午前0時に「ネットタイマー設定」で設定した時間に戻ります。

ネットタイマー設定: 1時間

機器名称の変更:

こどもネットSSIDとWPSで接続を行う:

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●こどもネットSSIDクライアント一覧

機器名称	接続しているWi-Fi機器の名称が表示されます。名称は[機器名称の変更]で変更することもできます。
MACアドレス	接続しているWi-Fi機器のMACアドレスが表示されます。
残り時間	1日に接続できる時間のうち、残り時間を表示します。
タイマー	[スタート]をクリックすると、ネットタイマーのカウントダウンを開始します。[ストップ]をクリックすると、ネットタイマーを中断します。
選択	Wi-Fi機器の設定を変更する場合にチェックします。

●設定の内容

ネットタイマー設定	1日に接続できる時間を選択します。
機器名称の変更	接続しているWi-Fi機器の名称を変更します。

●こどもSSIDとWPSで接続を行う

Wi-Fi機器側でWPS機能を実行したあと、 をクリックすると、本製品にWPS機能を使ってWi-Fi機器を接続することができます。(→P88「こどもネットタイマーの対象となるWi-Fi機器の登録」)

●各ボタンの機能

追加	各Wi-Fi機器に設定した内容を「こどもネットSSID クライアント一覧」に反映します。
削除	[選択]をチェックしたWi-Fi機器をリストから消去します。 ※削除したクライアントとの接続が切断されていない場合、リストからは削除されず、設定のみリセットされます。

タイマー機能の設定

登録したWi-Fi機器にこどもネットタイマー機能を設定します。

- 1 [こどもSSIDクライアント一覧]で、設定したい機器の[選択]をチェックします。
※Wi-Fi機器を本製品に接続する方法については、P88「こどもネットタイマーの対象となるWi-Fi機器の登録」をお読みください。
- 2 [ネットタイマー設定]でタイマー時間を選択します。
- 3 一覧に表示された機器名を変更する場合は、[機器名称の変更]に新しい名称を入力します。
- 4 をクリックします。
・[こどもSSIDクライアント一覧]に設定した内容が表示されます。

スケジュール機能 画面

画面の表示

画面左のメニューリストから[こどもネットタイマー]→[スケジュール機能]を選択します。

スケジュール機能

こどもSSIDクライアント一覧

機器名称	MACアドレス	制限時間	期間	ステータス	選択
ゲーム機1	94:ce:2c:68:23:19	00:00~00:00	毎日	接続中	☐

設定を変更したい機器を選択し、機器の名称と接続を制御したい時間帯を設定してください。平日では月～金曜日、休日なら土、日曜日の時間帯を制御します。
※土、日以外の祝日は平日として動作します。

接続制御時間設定: 15 ↓ 30 ↓ 18 ↓ 30 ↓
制御期間: ☒ 毎日 ☐ 平日 ☐ 休日
機器名称の変更:

こどもネットSSIDとWPSで接続を行う:

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●こどもネットSSIDクライアント一覧

機器名称	接続しているWi-Fi機器の名称が表示されます。名称は[機器名称の変更]で変更することもできます。
MACアドレス	接続しているWi-Fi機器のMACアドレスが表示されます。
制限時間	接続可能な時間帯が表示されます。
期間	接続可能な曜日が表示されます。 [毎日]: 月曜日～日曜日 [平日]: 月曜日～金曜日 [休日]: 土曜日・日曜日 ※土、日曜日以外の祝日は、平日として動作します。
ステータス	Wi-Fi 機器との接続状態が表示されます。
選択	Wi-Fi 機器の設定を変更する場合にチェックします。

●設定の内容

接続制御時間設定	接続可能な時間帯を設定します。
制御期間	接続可能な曜日を設定します。 [毎日]: 月曜日～日曜日 [平日]: 月曜日～金曜日 [休日]: 土曜日～日曜日 ※土、日曜日以外の祝日は、平日として動作します。
機器名称の変更	接続しているWi-Fi機器の名称を変更します。

●こどもSSIDとWPSで接続を行う

Wi-Fi機器側でWPS機能を実行したあと、 をクリックすると、本製品にWPS機能を使ってWi-Fi機器を接続することができます。(→P88「こどもネットタイマーの対象となるWi-Fi機器の登録」)

●各ボタンの機能

追加	各Wi-Fi機器に設定した内容を「こどもネットSSID クライアント一覧」に反映します。
削除	[選択]をチェックしたWi-Fi機器をリストから消去します。 ※削除したクライアントとの接続が切断されていない場合、リストからは削除されず、設定のみリセットされます。

スケジュール機能の設定

- [こどもSSIDクライアント一覧]で、設定したい機器の[選択]をチェックします。
※Wi-Fi機器を本製品に接続する方法については、P88「こどもネットタイマーの対象となるWi-Fi機器の登録」をお読みください。
- [接続制御時間設定]で接続可能な時間帯の開始時刻と終了時刻を設定します。
- [制御期間]で接続可能な曜日を選択します。
- 一覧に表示された機器名を変更する場合は、[機器名称の変更]に新しい名称を入力します。
- をクリックします。
・[こどもSSIDクライアント一覧]に設定した内容が表示されます。

こどもネットタイマーの対象となるWi-Fi機器の登録

はじめて、こどもネットタイマーを設定するときは、Wi-Fi機器を登録する必要があります。
あらかじめ〈こどもネットSSID設定〉画面で「こどもネットSSID」が有効になっていることを確認します。(→P55「こどもネットSSIDの設定」)

●Wi-Fi機器がWPSに対応している場合

- ① 本製品に登録するWi-Fi機器側でWPS機能を実行します。
- ② 〈こどもネットタイマー〉画面で「WPSスタート」をクリックします。



- ③ 正常に接続できると、接続されたWi-Fi機器が一覧に追加されます。

MEMO

Wi-Fi機器がWPSに対応していない場合

Wi-Fi機器の説明書をお読みにになり、SSIDおよび暗号キーを手動で設定してください。

- SSIDは「こどもネットSSID」を選択します。
- こどもネットSSIDの初期値は、「e-timer-XXXXXX」です。Xは、任意の英数字(0~9、a~f)です。
- 本製品のSSIDと暗号キーの初期値は、付属の設定情報シートに記載されています。

●WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-Iの場合

設定情報シート (初期値)	
2.4G SSID	elecom2g-XXXXXX
5G SSID	elecom5g-XXXXXX
こどもネット SSID	e-timer-XXXXXX
暗号化方式	WPA/WPA2 AES
暗号キー	XXXXXXXXXXXX
MAC アドレス	XXXXXXXXXXXX
※暗号方式 / 暗号キーは全SSID共通です。	

●WRC-300GHBK2-Iの場合

設定情報シート (初期値)	
2.4G SSID	elecom2g-XXXXXX
こどもネット SSID	e-timer-XXXXXX
暗号化方式	WPA/WPA2 AES
暗号キー	XXXXXXXXXXXX
MAC アドレス	XXXXXXXXXXXX
※暗号方式 / 暗号キーは全SSID共通です。	

7

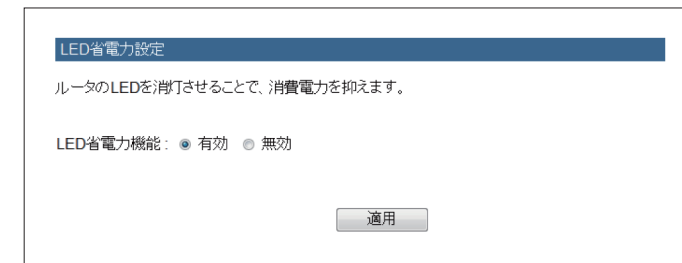
LED省電力機能の設定

本製品の省電力機能を有効にすると、2.4G WLAN ランプ、5G WLAN ランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。

※ WRC-300GHBK2-Iには5GWLANランプはついておりません。

画面の表示

画面左のメニューリストから「LED省電力設定」を選択します。



MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

LED省電力機能	「有効」を選択すると、2.4G WLAN ランプ、5G WLAN ランプを消灯して消費電力を抑える「省電力モード」になります。(初期値：無効)
----------	---

8 ファイアウォールの設定

アクセスコントロール 画面

登録したMACアドレスを持つ無線LAN子機または有線クライアントとだけ通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線LAN子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

MEMO

APモードでは、有線接続したクライアントに、アクセスコントロール機能を使用することはできません。

画面の表示

画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[アクセスコントロール]を選択します。

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を許可する・許可しないを設定します。登録できる端末数は、最大 50 です。有線/無線 両方の機器が対象になります。また、「許可」と「拒否」を混在させる設定はできません。

アクセスコントロール機能: ☒有効 ☐無効

コントロールモード:

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字、半角英数のみ)

追加

アクセスコントロール:

MACアドレス	コメント	ステータス	選択
			選択して削除
			全てを削除

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

アクセスコントロール機能	アクセスコントロール機能の有効/無効を設定します。
コントロールモード	接続許可: [アクセスコントロール]に登録したMACアドレスを持つクライアントだけが接続できます。 接続拒否: [アクセスコントロール]に登録したMACアドレスを持つクライアントとの接続を拒否します。
MACアドレス	本製品への接続を許可または拒否するクライアントのMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●アクセスコントロール

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大50です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

クライアントの登録

アクセスコントロール

特定の機器について、接続を許可する・許可しないを設定します。登録できる端末数は、最大 50 です。有線/無線 両方の機器が対象になります。また、「許可」と「拒否」を混在させる設定はできません。

アクセスコントロール機能: ☒ 有効 ☐ 無効

コントロールモード: 接続許可

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字、半角英数のみ)

追加

アクセスコントロール:

MACアドレス	コメント	ステータス	選択
選択して削除	全てを削除		

適用

- 1 [アクセスコントロール機能]で[有効]を選択します。
- 2 [コントロールモード]で[接続許可]または[接続拒否]を選択します。
- 3 クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890ab
- 4 必要に応じて[コメント]に、クライアントを区別するための名称など、コメントを入力します。
- 5 追加 をクリックします。設定したクライアントが[アクセスコントロール]のリストに表示されます。
- 6 登録するクライアントが複数ある場合は、2～5を繰り返します。

ポートフォワーディング画面

ポート転送(ポートフォワーディング)機能を設定します。通常NAT変換を利用するルーターでは、WAN(インターネット)側からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピュータをWAN側に開放することができます。



注意

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバー機能を有効にしているときは、P70「固定DHCP設定画面」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバー機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN側に開放される恐れがあります。



画面の表示

画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[ポートフォワーディング]を選択します。

ポートフォワーディング

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。設定できる登録数は、最大 3 です。

ポートフォワーディング機能: ☐ 有効 ☒ 無効

ローカルIPアドレス	タイプ	ポート	コメント
	両方		

(最大20文字、半角英数のみ)

追加

ポートフォワーディング設定リスト:

ローカルIPアドレス	コメント	タイプ	ポート	選択
選択して削除	全てを削除			

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

ポートフォワーディング機能	ポートフォワーディング機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
ローカルIPアドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
タイプ	プロトコルのタイプを選択します。(初期値：両方)
ポート	インターネット側から見た送信先のポート番号を入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●ポートフォワーディング設定リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。登録できるクライアント数は最大3です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックしたクライアントをリストから消去します。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。

ポートフォワーディングの設定

ポートフォワーディング

特定ポートの通信について、転送先の設定を行います。設定できる登録数は、最大 3です。

ポートフォワーディング機能: ☒有効 ☐無効

ローカルIPアドレス	タイプ	ポート	コメント
192.168.2.180	両方		

(最大20文字、半角英数のみ)

追加

ポートフォワーディング設定リスト:

ローカルIPアドレス	コメント	タイプ	ポート	選択
選択して削除 全てを削除				

適用

- 1 [ポートフォワーディング機能]で[有効]を選択します。
- 2 [ローカルIPアドレス]に対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
- 3 [タイプ]でプロトコルのタイプを選択します。
- 4 [ポート]に対象となるポート番号を入力します。
- 5 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- 6 [追加]をクリックします。登録したクライアントが[ポートフォワーディング設定リスト]に表示されます。
- 7 登録するクライアントが複数ある場合は、2～6を繰り返します。

URLフィルタリング設定 画面

特定のWebサイトのURLを設定することで、ホームページの閲覧を拒否することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[URLフィルタリング]を選択します。

URLフィルタリング設定

特定の文字列を含む URL へのアクセスを制限する設定を行います。設定できる登録数は、最大 5 です。

URLフィルタリング設定: ☒ 有効 ☐ 無効

フィルタする文字列

(最大20文字、半角英数のみ)

追加

URLフィルタ対象文字列リスト:

文字列

選択

選択して削除

全てを削除

適用

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **戻る** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **更新** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

URL フィルタリング機能	URL フィルタリング機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
フィルタする文字列	接続を拒否する Web サイトの URL に含まれる文字列を入力します。

●URL フィルタ対象文字列リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。[選択]は、登録した文字列の情報を削除する場合にチェックします。登録できる文字列の数は最大5です。

●各ボタンの機能

選択して削除	[選択]をチェックした文字列をリストから消去します。
全てを削除	リストの文字列の設定をすべて消去します。

URLフィルタリングの設定

URLフィルタリング設定

特定の文字列を含む URL へのアクセスを制限する設定を行います。設定できる登録数は、最大 5 です。

URLフィルタリング設定: ☒ 有効 ☐ 無効

フィルタする文字列

(最大20文字、半角英数のみ)

追加

URLフィルタ対象文字列リスト:

文字列

選択

選択して削除

全てを削除

適用

- 1 [URL フィルタリング機能] で[有効]を選択します。
- 2 [フィルタする文字列]に対象となるWebサイトのURLに含まれる文字列を入力します。
- 3 **追加** をクリックします。登録した文字列が[URL フィルタ対象文字列リスト]に表示されます。
- 4 **適用** をクリックします。
- 5 登録する文字列が複数ある場合は、**2**～**4**を繰り返します。

DMZ 設定 画面

通常、NAT変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定した端末にWAN側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。



設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。



画面左のメニューリストから[ファイアウォール設定]→[DMZ]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

DMZ 機能	DMZ 機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)
DMZ IP アドレス	インターネット（外部）に公開するWAN側IPアドレスを入力します。 「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

QoS 画面

QoS (Quality of Service) は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するときに有効です。



設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。



画面左のメニューリストから[QoS設定]を選択します。



設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず「適用」をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は「戻る」を、変更した内容をすぐに有効にする場合は「更新」をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●QoS機能

QoS機能の有効/無効を設定します。(初期値：無効)

●ダウンロード/アップロード帯域設定

ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を選択します。(初期値：1Mbps)
アップロード帯域幅	アップロードで確保する全体の帯域幅を選択します。(初期値：1Mbps)

●特定通信に関する設定

通信方向	通信方向を選択します。ダウンロード、アップロード、または両方のいずれかを選択できます。(初期値：ダウンロード)
上限/下限	最大帯域(上限)か最低帯域保証(下限)かの設定をします。(初期値：下限)
帯域幅	通信で確保する帯域幅を入力します。(初期値：1Mbps)
ローカルIPアドレス	この帯域を適用するクライアントのIPアドレスを入力します。
ポート範囲	この帯域を適用するクライアントのローカルポート範囲を入力します。対象が1台の場合は左側だけに入力します。
プロトコル	使用するプロトコルをリストから選択します。(初期値：TCP)

9 システム設定

システム設定メニューでは、機器のステータス表示、設定の保存、設定の初期化(工場出荷時の状態に戻す)、パスワード設定、ファームウェアのアップデートなどができます。ファームウェアの更新については、P107「10. ファームウェアのアップデート」をお読みください。

ステータス 画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面の表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[ステータス]を選択します。

ステータス

本製品のシステム情報を表示します。

システム設定

稼働時間 0日0時0分37秒

ファームウェアバージョン 1.09

動作モード ルータモード

現在時刻 1970年1月1日 0時02分16秒

WAN設定

IPアドレス 空白無し

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

MACアドレス

LAN設定

IPアドレス 192.168.2.1

サブネットマスク 255.255.255.0

DHCPサーバー 有効

MACアドレス

無線設定 (2.4G SSID)

SSID elecom2g-XXXXXX

チャンネル 7

暗号化 WPA2PSK

BSSID

接続端末台数 0

無線設定 (5G SSID)

SSID elecom5g-XXXXXX

チャンネル 36

暗号化 WPA2PSK

BSSID

接続端末台数 0

●システム

稼働時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	現在選択中の動作モードを表示します。
現在時刻	本製品に内蔵された時計の現在の時刻を表示します。

●WAN設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

●LAN設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバー	DHCP機能の状態を表示します。「有効」と表示されている場合、DHCPサーバー機能が有効になっています。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

●無線設定状況 (2.4G SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の数です。

●無線設定 (こどもネット SSID)

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の数です。

●無線設定 (5G SSID) ※WRC-300GHBK2-Iは対応していません。

SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
接続端末台数	このSSIDに接続している無線LAN子機の数です。

設定保存と復元 画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。



画面左のメニューリストから[システム設定]→[設定保存と読込]を選択します。

設定保存と復元

現在の設定の保存 / 復元を行うことができます。
また、工場出荷状態へ戻すこと(初期化)も行うことができます。

設定を保存:

設定を復元:

設定を初期化:

設定の保存方法

設定を保存：

保存

- 1 「保存」をクリックします。
- 2 「ファイルのダウンロード」画面が表示されますので、「保存」をクリックします。
- 3 「名前を付けて保存」画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、「保存」をクリックします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。
- 4 「ダウンロードの完了」画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。「設定保存と復元」画面に戻ります。

設定の読み込み方法

設定を復元：

C:\Users\tester\Desktop\config.dat 参照

復元

設定を初期化：

初期化

- 1 「設定を復元」の「参照」をクリックします。
- 2 「アップロードするファイルの選択」画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
- 3 「復元」をクリックします。
- 4 「設定の読み込みに成功しました。」と表示されます。「戻る」をクリックします。

設定を初期化する(工場出荷時の状態に戻す)

設定を初期化：

初期化

- 1 「設定を初期化」の「初期化」をクリックします。
- 2 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので「OK」をクリックします。
- 3 しばらくすると「初期化に成功しました。」と表示されます。

パスワード設定画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。

画面の表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[パスワード設定]を選択します。

パスワード設定

本製品の管理画面にアクセスするためのログインユーザ名/パスワードを変更できます。

※全ての項目は、半角英数字(a～f, 0～9)で設定してください。

※より高いセキュリティを確保するため、初期設定時に変更することをお勧めします。

新ユーザ名： (最大30文字)

現在のパスワード：

新パスワード： (最大30文字)

新パスワードの確認：

適用



注意

●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

- 1 「新ユーザ名」に、新しく設定するユーザー名を入力します。
- 2 「現在のパスワード」に、現在使用しているパスワードを入力します。
- 3 「新しいパスワード」に、新しく設定するパスワードを入力します。
- 4 「パスワードを確認」に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- 5 「適用」をクリックします。認証画面が表示されます。
- 6 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
 - ・〈ステータス〉画面が表示されます。

アクセスログ

本製品のアクセスログを確認することができます。表示したアクセスログを保存または削除することもできます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[ログ]を選択します。

日時	ログ
1970/01/01/00:00:03	(none) syslog.info syslogd started: BusyBox v1.12.1
1970/01/01/00:00:27	(none) cron.err crond[448]: crond (busybox 1.12.1)
1970/01/01/00:00:28	(none) daemon.info pppd[464]: Plugin /lib/rp-pppoe.
1970/01/01/00:00:28	(none) daemon.info pppd[464]: RP-PPPoE plugin versi
1970/01/01/00:00:28	(none) daemon.notice pppd[464]: pppd 2.4.2b1 starte
1970/01/01/00:00:34	(none) daemon.info lighttpd[417]: /ncsi.txt 192.168
1970/01/01/00:00:34	(none) daemon.info lighttpd[417]: /ncsi.txt 192.168
1970/01/01/00:00:44	(none) daemon.info lighttpd[417]: /ncsi.txt 192.168
1970/01/01/00:00:44	(none) daemon.info lighttpd[417]: /ncsi.txt 192.168
1970/01/01/00:00:45	(none) daemon.info lighttpd[417]: /pki/crl/products
1970/01/01/00:00:46	(none) daemon.info lighttpd[417]: /syslog.html 192.
1970/01/01/00:00:46	(none) daemon.info lighttpd[417]: /?m=stasyllog 192.
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.info pppd[464]: PPP session is 53011
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.info pppd[464]: Using interface ppp0
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.notice pppd[464]: Connect: ppp0 <->
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.warn pppd[464]: Couldn't increase MTU
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.err pppd[464]: Couldn't increase MRU
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.warn pppd[464]: kernel does not suppo
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.warn pppd[464]: ipup.....
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.notice pppd[464]: local IP address 4
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.notice pppd[464]: remote IP address 2
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.notice pppd[464]: primary DNS addre
1970/01/01/00:00:53	(none) daemon.notice pppd[464]: secondary DNS addre
1970/01/01/00:00:54	(none) daemon.info lighttpd[417]: /wanpppoe.html 19
1970/01/01/00:00:54	(none) daemon.info lighttpd[417]: /?m=flash&Device.

●設定の内容

メニュー項目	内容
保存	表示されているログ内容をファイルに保存します。 保存されるファイル名は以下のとおりとなります。 WRC-1167GEBK-I→「LOGFILE_WRC-1167GEBK-I_yyyymmddhhmmss.log」 WRC-F1167ACF→「LOGFILE_WRC-F1167ACF_yyyymmddhhmmss.log」 WRC-733GEBK-I→「LOGFILE_WRC-733GEBK_yyyymmddhhmmss.log」 WRC-300GHBK2-I→「LOGFILE_WRC-300GHBK2_yyyymmddhhmmss.log」 ※「yyyymmddhhmmss」は[保存]ボタンを押した日時/時間となります
削除	表示されているログ内容を削除します。
更新	表示されているログ内容を最新の情報に更新します。

10 ファームウェアのアップデート

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアをアップデートすることで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。ファームウェアのアップデートの方法は2種類あります。

ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

自動更新	弊社Webサイト上に最新のファームウェアがあると、検知から24時間後または設定した時刻に、自動的にアップデートします。
手動更新	オンラインまたはダウンロードしたbin ファイルを使って、設定ユーティリティの「手動更新(アップデート)」機能による更新ができます。



- ファームウェアのダウンロードとアップデートは、必ずパソコンでおこなってください。スマートフォンやタブレット、Wi-Fiゲーム機などからは更新できません。
- パソコンと本製品のLANポートを有線LANで接続した状態で、ダウンロードとアップデートをおこなってください。パソコンはIPアドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- アップデートするファームウェアは、必ず本製品のものを使用してください。本製品以外のファームウェアを使ってアップデートすると、本製品が故障する恐れがあります。

最新ファームウェアの自動更新機能

本製品にはファームウェアを自動的に更新できる「ファームウェアの自動更新機能」があります。エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、検知から24時間後または設定した時刻に、本製品は自動的にファームウェアをアップデートするようになっています。これにより、常に最新の状態で本製品をご使用いただけるようになります。



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

工場出荷時には本機能が＜有効＞となっております。

自動更新の設定を無効にする方法については、次ページの「ファームウェアの自動更新設定を無効にする」をお読み下さい。

MEMO

- 自動アップデートは、本製品の電源が入った状態で、インターネットに接続できる必要があります。
- インターネットをご使用中は、更新作業は始まりません。
- 初期設定では、検知から24時間後に自動的に更新します。また、自動更新の開始時間を設定することもできます。(→P111「ファームウェア自動更新の時間設定」)
- 通知機能を設定することで、更新ファイルがある場合にブラウザによる通知を行うことができます。(→P110「ファームウェア自動更新の通知設定」)

ファームウェアの自動更新を無効にする

ファームウェア更新 自動更新(アップデート)

ファームウェアを自動的に更新する機能についての設定を行います。

・有効:

更新ファイルがある場合、LEDランプなどによる通知を行います。
また、自動更新を行うための各種設定を行うことができます。

・無効:

更新ファイルがある場合でも、LEDランプなどによる通知を行いません。
本管理画面の『手動アップデート』設定より、ファームウェアの更新(アップデート)を行うことができます。

● 有効

● 無効

適用

- ① 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]を選択します。
- ② [無効]を選択し、**適用**をクリックします。
- ③ 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。**更新**をクリックします。
 - ・しばらくすると、＜ステータス＞画面が表示されます。

ファームウェア自動更新の通知設定

エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、ご使用のインターネットブラウザを開いたときに、通知する/しないを設定することができます。

[有効]を選択すると、ファームウェアをアップデートするか案内の画面が表示されます。画面のメッセージに従って操作することで、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

[無効]を選択すると、ブラウザによる通知画面が表示されず、自動的にアップデートを行います。(初期値：無効)

ファームウェア更新 自動更新(アップデート)通知設定

更新ファイルがある場合、ブラウザを開いた時に通知を行うかどうかを設定します。

- ・有効: ブラウザによる通知を行います。通知メッセージに従い操作することで、ファームウェアのアップデートを行うことができます。
- ・無効: ブラウザによる通知を行わず、自動的にファームウェアアップデートを行います。ファームウェアアップデート中は、通知LEDランプが自動的に点滅しますが、この時、ルータの電源を絶対にOFFしないでください。

☐ 有効 ☒ 無効

適用



注意 アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- ① 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]→[通知設定]を選択します。
- ② [有効]または[無効]を選択し、[適用]をクリックします。
- ③ 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[更新]をクリックします。
・しばらくすると、〈ステータス〉画面が表示されます。

ファームウェア自動更新の時間設定

「ファームウェアの自動更新の通知設定」が「無効」で、エレコム・ホームページ上に最新のファームウェアがある場合、検知から24 時間後に自動的に更新します。また、自動更新の開始時間を変更することができます。

ファームウェア更新 自動更新(アップデート)更新時間設定

自動ファームウェア更新を行う場合の更新時刻を設定します。

03:00 ▼
Auto ▲
00:00
01:00
02:00
03:00
04:00
05:00
06:00
07:00
08:00
09:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
18:00 ▼

適用

- ① 画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[自動更新(アップデート)]→[更新時間設定]を選択します。
- ② [更新開始時間]を選択します。(初期値：[3:00 (検知から24 時間後に自動更新)])
- ③ [適用]をクリックします。
- ④ 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[更新]をクリックします。
・しばらくすると、〈ステータス〉画面が表示されます。

手動でファームウェアを更新する

自動更新機能を使わずに手動でファームウェアを更新することもできます。ファームウェアをダウンロードせずにオンラインで更新する方法と、ファームウェアをダウンロードして更新する方法があります。

オンラインでの更新

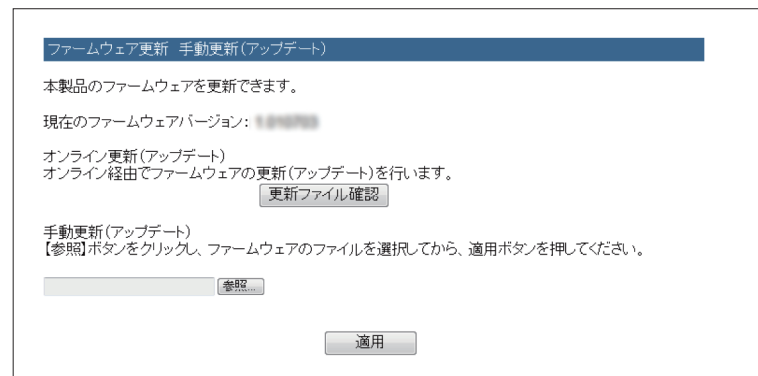
エレコム・ホームページ上にあるファームをダウンロードすることなく、オンラインで更新することができます。ファームウェアをダウンロードする必要がなく簡単に更新できます。



通信環境が悪い場合は、ファームウェアをダウンロードしてから、「手動更新(アップデート)」で更新することをお勧めします。



画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[手動更新(アップデート)]を選択します。



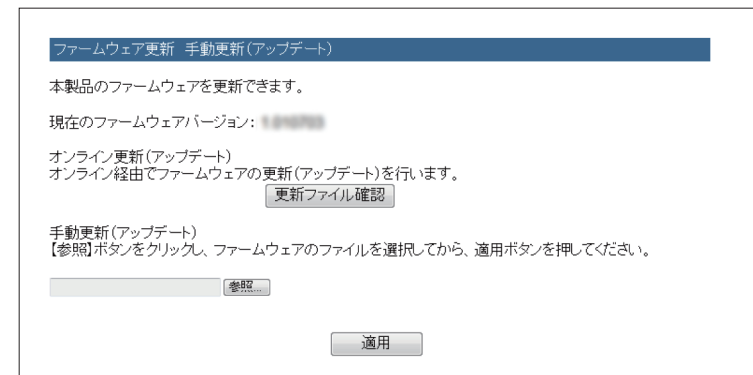
- 1 [オンライン更新(アップデート)]で「更新ファイル確認」をクリックします。
- 2 最新のファームウェアがあるかメッセージが表示されます。最新ファームウェアがある場合は、「更新する」をクリックします。
 - すでに最新の場合は、「戻る」をクリックします。
- 3 案内メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。
- 4 更新作業が始まります。更新が完了するまで、本製品の電源をオフにしないでください。
- 5 正常にアップデートが完了すると、設定ユーティリティへのログイン画面が表示されます。
- 6 「FWのアップデートが完了しました！！」と表示されます。Web ブラウザー画面を閉じます。

ダウンロードしたファームウェアを使った更新

ダウンロードしたファームウェアを、「手動更新(アップデート)」機能を使って更新します。



画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]→[手動更新(アップデート)]を選択します。



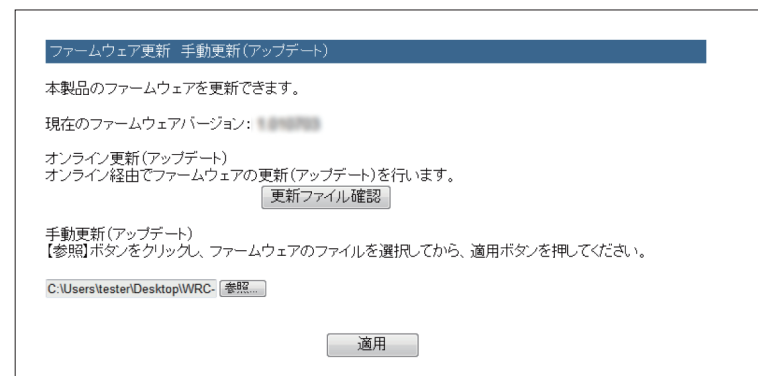
- 1 パソコンと本製品を有線 LAN で接続します。
 - パソコンは IP アドレスを自動取得できるように設定しておいてください。
- 2 インターネットに接続します。
- 3 エレコム Web サイト「<http://www.elecom.co.jp/>」に接続します。
- 4 [ダウンロード]をクリックします。
- 5 [型番で検索]で型番を入力し、「検索」をクリックします。
- 6 本製品向けにダウンロード可能な内容が表示されますので、ファームウェアを選びます。
- 7 説明に従ってダウンロードします。
 - ダウンロード前に注意事項などがないかダウンロードページでご確認ください。
 - ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。
- 8 このあと「Windows でのアップデート手順」または「Mac でのアップデート手順」をお読みください。

■ Windows でのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- ① ダウンロードした圧縮ファイルのアイコン(電子レンジ型)をダブルクリックします。
- ② メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
- ③ <ファームウェア更新 手動更新(アップデート)>画面で、**参照**をクリックします。
(P112「画面の表示」参照)。



- ④ <アップロードするファイルの選択>画面が表示されますので、解凍したファイルを指定し、**開く**をクリックします。
- ⑤ **アップロードする**をクリックします。
- ⑥ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。
- ⑦ 「ファームウェア更新中。」と表示され、アップデートが開始します。
 - ・ アップデートが完了するまで、絶対に本製品の電源を切らないでください。
- ⑧ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
 - ・ 新しいファームウェアで動作するようになります。



エラー画面が表示された場合

本製品の電源ケーブル(AC アダプター)を抜き差しして電源を入れ直してください。

■ Mac でのアップデート手順



アップデート中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

- ① ダウンロードした圧縮ファイル(ZIP 形式)を解凍します。
 - ・ メッセージに従って解凍し、デスクトップ上に保存します。
 - ・ ご使用の環境によっては、解凍作業が不要な場合があります。
- ② このあとは、「Windows でのアップデート手順」の手順③～⑧を実行します。

Appendix

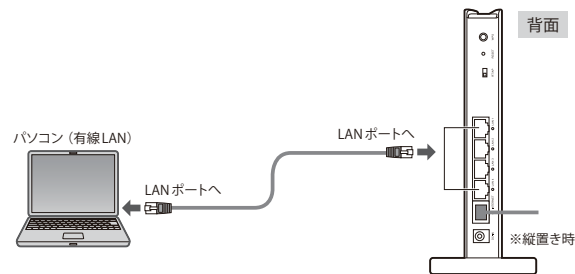
付録編

1 子機モード(コンバーターモード)を使う

本製品を子機モード(コンバーターモード)に変更することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができます。ネットワーク対応TVなどと子機モードの本製品を組み合わせることで、別途用意された無線親機と無線LANで接続することができます。

子機モードに変更する

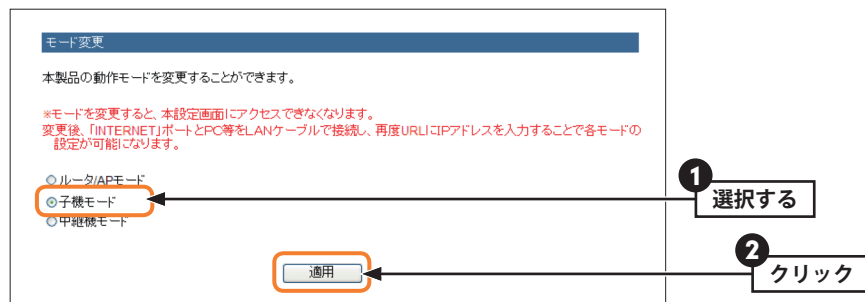
本製品の設定をするために、本製品と有線LANで接続するパソコンを1台用意し、本製品のLANポートとパソコンの有線LANポートをLANケーブルで接続しておきます。



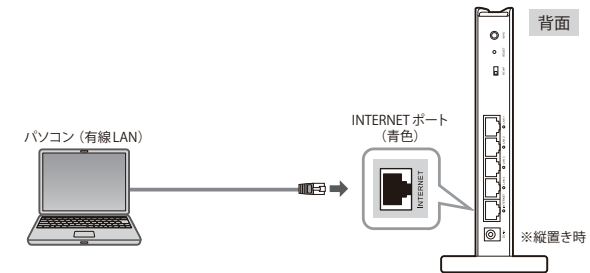
- 1 本製品の設定ユーティリティを開き、画面左のメニューリストから[モード変更]を選択します。

・設定ユーティリティの表示方法はP34をお読みください。

- 2 本製品の設定ユーティリティを開き、画面左のメニューリストから[モード変更]を選択します。



- 3 2分以上経過後、設定用に本製品に接続しているパソコンのLANケーブルをLANポートから「INTERNETポート」に差し替えます。

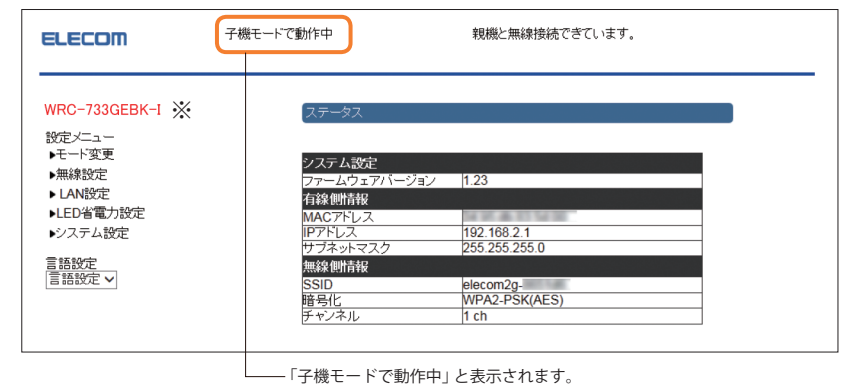


・子機モードでは、「INTERNETポート」が設定用のコンソールポートになります。

- 4 手順3の後に、1分以上経過してから、Webブラウザを起動します。アドレス欄に「http://192.168.2.1」と入力し、設定画面にアクセスします。

・ログイン画面が表示された場合は、ログインします。
・初期値は、ユーザー名「admin」、パスワード「admin」です。

- 5 子機モードの設定ユーティリティ画面が表示されます。



「子機モードで動作中」と表示されます。

※本部分は各型番により変わります。

6 次の「無線親機にアクセスする」へ進みます。

MEMO

子機モードからルーター/APモードに戻すには…

- ① 設定用のパソコンと本製品(子機モード)の「INTERNETポート」をLANケーブルで接続し、Webブラウザから設定ユーティリティを開きます。
- ② モード変更画面で、「ルーター/APモード」を選択し、適用 をクリックします。
- ③ 2分経過後、設定ユーティリティを閉じ、LANケーブルをLANポートに接続し直します。
- ④ 再度、設定ユーティリティを開き(「http://192.168.2.1」を入力(初期値の場合))、画面上部に「ルーターモード(またはAPモード)で動作しています。」と表示されたら完了です。

無線親機にアクセスする

あらかじめ以下の準備をしておきます。

- 本製品を子機モードで使用するときは、手動で暗号機能を設定する必要があります。無線親機の以下の情報をご確認ください。
無線親機が本製品と同シリーズの場合は、設定情報シートに記載があります。

無線親機のSSID	→複数のSSIDがある場合は、接続したいSSIDをご確認ください。
暗号化方式 [※]	☐ WEP ☐ WPA-PSK (TKIP) ☐ WPA2-PSK (AES)
暗号キー	

※ WEPの場合、本製品は「キー1」にのみ対応いたします。あらかじめキー1に暗号キーを設定しておいてください。

- 本製品の作業を進める前に、無線親機の電源を入れて、本製品が無線親機にアクセスできるようにしておきます。

1 設定ユーティリティの画面左のメニューリストから[無線設定]を選択します。

2 調べておいた無線親機の情報を入力し、適用 をクリックします。

SSIDの選択: 検索 — 下記のMEMO参照

チャンネル: 1

帯域: Auto

暗号化: WPA2-PSK(AES)

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

適用

※帯域は「Auto」で変更する必要はありません。

MEMO

[検索] ボタンについて

SSIDを自動で入力できるほか、暗号化方式も自動で選択されます。[検索] をクリックすると<無線サイトサーベイ>画面が表示されます。リストに表示された目的のSSIDの「選択」にある○を選択し、適用 をクリックします。

無線サイトサーベイ

選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	信号	モード
☒	1	elecom2g-		AES	WPA2PSK	100	11b/g/n
☐	10			WEP	OPEN	10	11b/g
☐	10			WEP	OPEN	20	11b/g

更新 適用

— 接続するSSIDのこのボタンをクリックします。

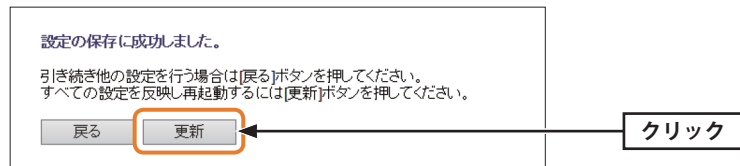
その後、あらかじめ調べておいた暗号キーを入力して[適用] をクリックします。

暗号キー:

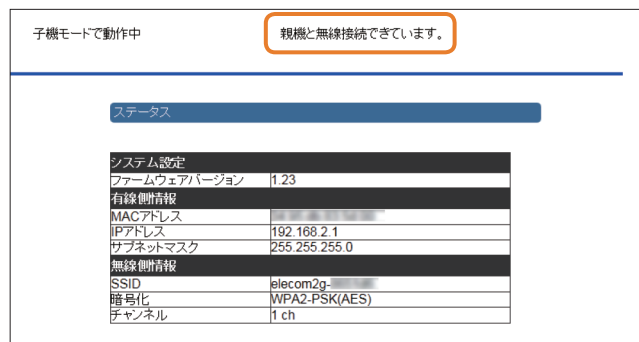
パスワードの表示: ☒

適用

3 無線親機の電源が入っていることを確認してから、**更新** をクリックします。



4 無線親機へのアクセスに成功すると<ステータス>画面が表示されます。また画面上方に、「親機と無線接続できています。」と表示されます。



※2.4GHz 帯で接続した場合は、本製品の「2.4G WLAN ランプ」が点灯します。
5GHz 帯で接続した場合は、「5G WLAN ランプ」が点灯します。

5 設定ユーティリティの画面を閉じます。

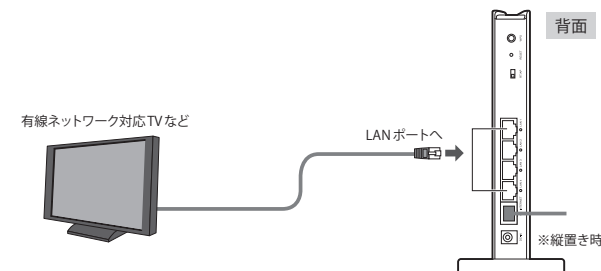
6 次ページの「有線ネットワーク機器と接続する」へ進みます。

有線ネットワーク機器と接続する

使用する有線ネットワーク機器は、あらかじめ有線LAN接続でインターネットやローカルネットワークに接続できていることを確認しておいてください。

1 本製品の背面にあるDC IN から電源プラグを抜いて電源を切ります。

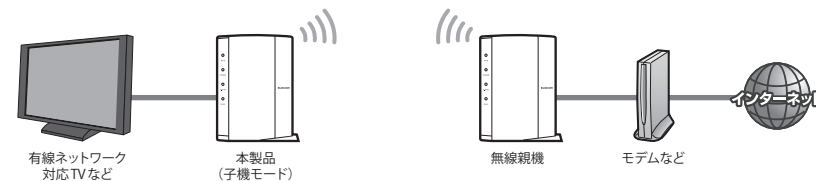
2 有線ネットワーク機器のLANポートと本製品背面にあるLANポートのいずれかをLANケーブルで接続します。



- LANポートは4ポートあります。いずれのポートに接続してもかまいません。
- 4台までの有線ネットワーク機器を接続することができます。ただし、同時に使用すると、通信速度が低下することがあります。
- 「INTERNETポート」は使用できません。

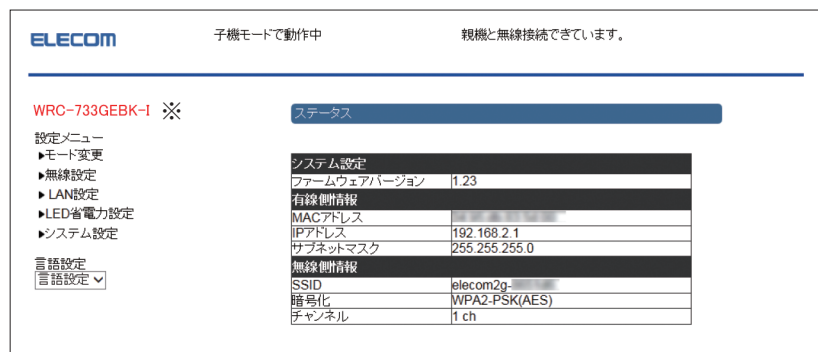
3 本製品の背面のDC IN に電源プラグを差し込み、電源を入れます。

4 有線ネットワーク機器からインターネットやネットワークに接続できることを確認します。接続できれば作業はすべて完了です。



子機モードでの設定メニューについて

本製品を子機モードで使用する場合、以下のような設定メニューがあります。各メニューの説明は、下記の表を参考にしてください。



※本部分は各型番により変わります。

モード変更	ルーター/APモードのほか、子機モードおよび中継器モードからモードを選択するための画面です。子機モードについては、P118「1. 子機モード(コンバーターモード)を使う」、中継器モードについては、P125「2. 中継器モード(リピーターモード)を使う」の説明を参考にしてください。
無線設定	無線親機にアクセスするための設定画面です。P120「無線親機にアクセスする」の説明を参考にしてください。
LAN設定	LAN側の設定をします。内容については、P69「LAN設定 画面」を参照してください。
LED省電力設定	省電力機能を有効にすると、2.4GHz WLANランプと5GHz WLANランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。内容については、P89「7. LED省電力機能の設定」を参照してください。
システム設定	ステータス、ファームウェア更新、設定保存と読み込み、パスワード設定があります。内容については、P101「9. システム設定」を参照してください。

子機モードの注意点

- 子機モード時の設定ユーティリティへのアクセスは、本製品背面にある「INTERNETポート」を有線LANでパソコンと接続してご使用ください。子機モード時は、「コンソールポート」になり、パソコンからWebブラウザで各種設定が可能です。
- 子機モード時に、本製品をリセット(初期化)しますと、設定が工場出荷時の状態に戻り、ルーター/APモードになります。ルーター/APモード時に、パソコンからWebブラウザで本製品の設定ユーティリティを開く場合は、パソコンを本製品のLANポートに接続する必要があります。

2

中継器モード(リピーターモード)を使う

本製品を中継器モード(リピーターモード)に変更することで、電波の届きにくい場所でも電波を中継して、通信範囲をより広くすることができます。また、有線LAN環境がない場所に本製品を設置することで、無線親機との距離があっても電波を中継し、クライアント端末と無線接続できるようにします。

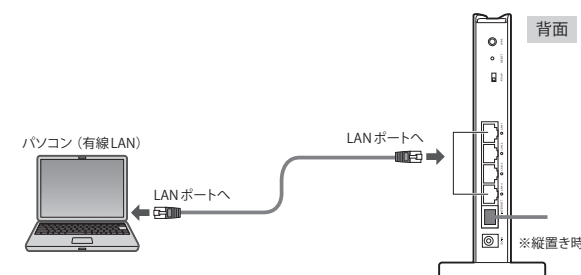


注意

2.4GHzと5GHzの同時使用はできなくなります。接続先の無線親機と本製品との間で使用している周波数帯でのみアクセスできます。

中継器モードに変更する

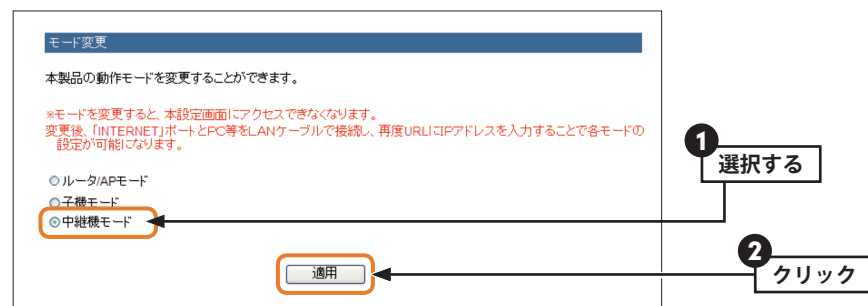
本製品の設定をするために、本製品と有線LANで接続するパソコンを1台用意し、本製品のLANポートとパソコンの有線LANポートをLANケーブルで接続しておきます。



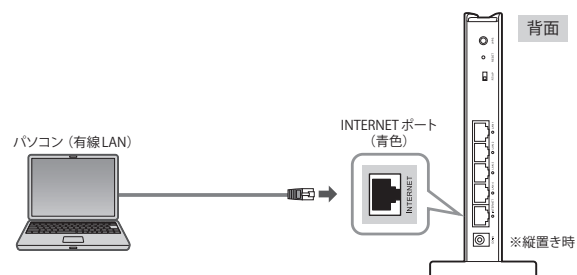
- 1 本製品の設定ユーティリティを開き、画面左のメニューリストから[モード変更]を選択します。

・設定ユーティリティの表示方法はP34をお読みください。

- 2** [中継器モード]を選択し、適用 をクリックします。適用 ユーティリティの画面を閉じます。



- 3** 2分以上経過後、設定用に本製品に接続しているパソコンのLANケーブルをLANポートから「INTERNETポート」に差し替えます。

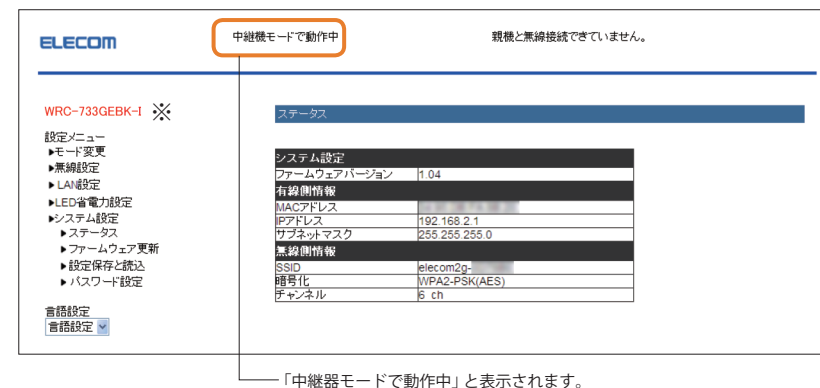


- 中継器モードでは、「INTERNETポート」が設定用のコンソールポートになります。

- 4** 手順 **3** の後に、1分以上経過してから、Web ブラウザーを起動します。アドレス欄に「http://192.168.2.1」と入力し、設定画面にアクセスします。

- ログイン画面が表示された場合は、ログインします。
- 初期値は、ユーザー名「admin」、パスワード「admin」です。

- 5** 中継器モードの設定ユーティリティ画面が表示されます。



※本部分は各型番により変わります。

- 6** 次の「無線親機にアクセスする」へ進みます。

WPSで接続する場合はP130「無線親機にアクセスする (WPSで接続する)」を参照してください。

MEMO

中継器モードからルーター/APモードに戻すには…

- ① 設定用のパソコンと本製品 (中継器モード) の「INTERNETポート」をLANケーブルで接続し、Webブラウザから設定ユーティリティを開きます。
- ② モード変更画面で、「ルーター/APモード」を選択し、適用 をクリックします。
- ③ 2分経過後、設定ユーティリティを閉じ、LANケーブルをLANポートに接続し直します。
- ④ 再度、設定ユーティリティを開き (「http://192.168.2.1」を入力 (初期値の場合))、画面上部に「ルーターモード (またはAPモード) で動作しています。」と表示されたら完了です。

無線親機にアクセスする(WPSで接続する)

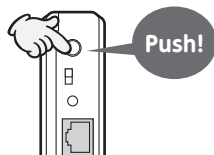
MEMO

- ・親機が2.4GHz/5GHz両対応の場合は、5GHzを優先に接続されます。
- ・2.4GHzまたは5GHzのどちらかで接続したい場合は、P128「無線親機にアクセスする(手動で接続する)」へ進み、別途手動で設定をおこなってください。
- ※WRC-300GHBK2-Iは5GHzに対応しておりません。

1 本製品を無線親機と確実に通信できる場所に近づけます。



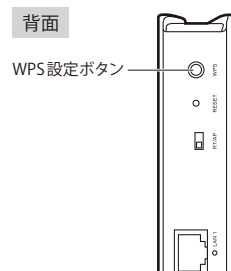
2 親機のWPSボタンを長押しします。(2~3秒)



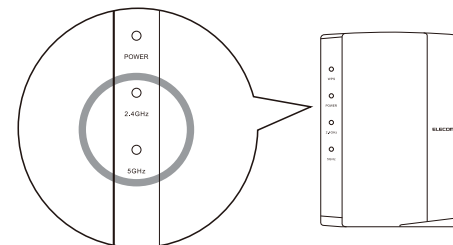
MEMO

ご利用の親機によって、操作が異なる場合があります。詳しくは、親機の取扱説明書をご覧ください。

3 本製品の背面にある「WPS設定ボタン」を2秒以上押し、離します。



4 2.4GHzまたは5GHzのLEDが点灯したら接続が確立した状態となります。



※WRC-300GHBK2-Iは2.4GHzのLEDランプのみです。

5 本製品の設置場所に移動し、「無線中継器と接続する」へ進みます。

無線親機にアクセスする(手動で接続する)

あらかじめ以下の準備をしておきます。

- 本製品を中継器モードにして、接続先を手動で設定する場合には無線親機の以下の情報をご用意下さい。
- 無線親機が本製品と同シリーズの場合は、設定情報シートに記載があります。

無線親機のSSID	→複数のSSIDがある場合は、接続したいSSIDをご確認ください。
暗号化方式※	☐ WEP ☐ WPA-PSK (TKIP) ☐ WPA2-PSK (AES)
暗号キー	

※WEPの場合、本製品は「キー1」にのみ対応いたします。あらかじめキー1に暗号キーを設定しておいてください。

- 本製品の作業を進める前に、無線親機の電源を入れて、本製品が無線親機にアクセスできるようにしておきます。

1 設定ユーティリティの画面左のメニューリストから[無線設定]を選択します。

2 調べておいた無線親機の情報を入力し、**適用** をクリックします。

SSIDの選択: 検索 下記のMEMO参照

チャンネル: 1

帯域: Auto

暗号化: WPA2-PSK(AES)

暗号キー: 1234567890123

パスワードの表示: ☒

1 入力する

2 クリック

適用

※帯域は「Auto」で変更する必要はありません。

MEMO

[検索] ボタンについて

SSIDを自動で入力できるほか、暗号化方式も自動で選択されます。**検索** をクリックすると<無線サイトサーベイ>画面が表示されます。リストに表示された目的のSSIDの「選択」にある○を選択し、**適用** をクリックします。

無線サイトサーベイ

選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	信号	モード
☒	1	elecom2g-		AES	WPA2PSK	100	11b/g/n
☐	10			WEP	OPEN	10	11b/g
☐	10			WEP	OPEN	20	11b/g

更新 適用

接続するSSIDのこのボタンをクリックします。

その後、あらかじめ調べておいた暗号キーを入力して**適用** をクリックします。

暗号キー:

パスワードの表示: ☒

入力する

クリック

適用

3 無線親機の電源が入っていることを確認してから、**更新** をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[戻る]ボタンを押してください。
すべての設定を反映し再起動するには[更新]ボタンを押してください。

戻る **更新** **クリック**

4 無線親機へのアクセスに成功すると<ステータス>画面が表示されます。また画面上方に、「親機と無線接続できています。」と表示されます。

中継機モードで動作中 **親機と無線接続できています。**

ステータス

システム設定	
ファームウェアバージョン	1.23
有線側情報	
MACアドレス	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
無線側情報	
SSID	elecom2g-
暗号化	WPA2-PSK(AES)
チャンネル	1 ch

※ 2.4GHz 帯で接続した場合は、本製品の「2.4G WLAN ランプ」が点灯します。
5GHz 帯で接続した場合は、「5G WLAN ランプ」が点灯します。

5 設定ユーティリティの画面を閉じます。

6 「無線中継器と接続する」へ進みます。

無線中継器と接続する

1 無線子機(クライアント端末)が無線親機にアクセスできるように設定します。



- 無線子機と無線親機の設定方法については、それぞれの説明書をお読みください。
- すべての無線子機が無線親機にアクセスできるように設定します。

2 本製品を適切な場所に設置し、無線親機にアクセスします。



3 無線子機(クライアント端末)を本製品(中継器)に近づけます。



4 無線親機と同じSSIDで本製品にアクセスします。インターネットに接続するなどして、正しく接続できるか確認します。

- 正しく接続できれば作業は完了です。

中継器モードでの設定メニューについて

本製品を中継器モードで使用する場合、以下のような設定メニューがあります。各メニューの説明は、下記の表を参考にしてください。

ELECOM																					
中継器モードで動作中																					
親機と無線接続できていません。																					
WRC-733GHBK-I ※																					
設定メニュー	ステータス																				
- モード変更 - 無線設定 - LAN設定 - LED省電力設定 - システム設定 - ステータス - ファームウェア更新 - 設定保存と読み込み - パスワード設定	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">システム設定</th></tr> <tr> <td>ファームウェアバージョン</td><td>1.04</td></tr> <tr> <th colspan="2">有線情報</th></tr> <tr> <td>MACアドレス</td><td></td></tr> <tr> <td>IPアドレス</td><td>192.168.2.1</td></tr> <tr> <td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr> <tr> <th colspan="2">無線情報</th></tr> <tr> <td>SSID</td><td>elecom2g-</td></tr> <tr> <td>暗号化</td><td>WPA2-PSK(AES)</td></tr> <tr> <td>チャンネル</td><td>6 ch</td></tr> </table>	システム設定		ファームウェアバージョン	1.04	有線情報		MACアドレス		IPアドレス	192.168.2.1	サブネットマスク	255.255.255.0	無線情報		SSID	elecom2g-	暗号化	WPA2-PSK(AES)	チャンネル	6 ch
システム設定																					
ファームウェアバージョン	1.04																				
有線情報																					
MACアドレス																					
IPアドレス	192.168.2.1																				
サブネットマスク	255.255.255.0																				
無線情報																					
SSID	elecom2g-																				
暗号化	WPA2-PSK(AES)																				
チャンネル	6 ch																				
言語設定																					
言語設定																					

※部分は各型番により変わります。

モード変更	ルーター/APモードのほか、子機モードおよび中継器モードからモードを選択するための画面です。子機モードについては、P118「1. 子機モード(コンバーターモード)を使う」を、中継器モードについては、P125「2. 中継器モード(リピーターモード)を使う」の説明を参考にしてください。
無線設定	無線親機にアクセスするための設定画面です。 P120「無線親機にアクセスする」の説明を参考にしてください。
LAN設定	LAN側の設定をします。内容については、P69「LAN設定 画面」を参照してください。
LED省電力設定	省電力機能を有効にすると、2.4GHz WLANランプと5GHz WLANランプがオフになり、消費電力を抑えることができます。内容については、P89「7. LED 省電力機能の設定」を参照してください。
システム設定	ステータス、ファームウェア更新、設定保存と読み込み、パスワード設定があります。内容については、P101「9. システム設定」を参照してください。

中継器モードの注意点

- 中継器モード時の設定ユーティリティへのアクセスは、本製品背面にある「INTERNET ポート」を有線LANでパソコンと接続してご使用ください。中継器モード時は、「コンソールポート」になり、パソコンからWeb ブラウザーで各種設定が可能です。
- 中継器モード時に、本製品をリセット(初期化)しますと、設定が工場出荷時の状態に戻り、ルーター/APモードになります。ルーター/APモード時に、パソコンからWeb ブラウザーで本製品の設定ユーティリティを開く場合は、パソコンを本製品のLANポートに接続する必要があります。

3 APモードで設定ユーティリティにアクセスする

本製品をAPモードでご使用の場合、ご使用のネットワークのセグメントが「192.168.2.xxx」以外のときは、本製品のLAN側のIPアドレスをご使用のネットワークのセグメントにあわせないと、本製品の設定ユーティリティにアクセスすることができません。以下の手順で、設定ユーティリティにアクセスし、IPアドレスを手動で設定します。

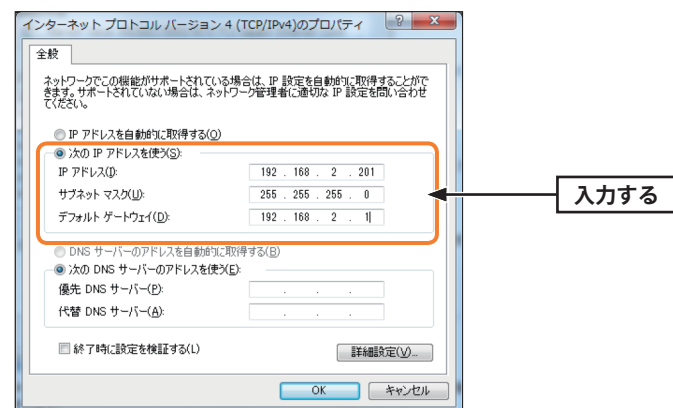
※本製品のIPアドレス（初期値）「192.168.2.1」を、他の機器でご使用の場合で、本製品にアクセスするときも、IPアドレスの変更が必要です。

1 設定用にパソコンを1台用意します。

2 パソコンの「IPアドレス」を手動設定に変更し、本製品と同じセグメント（192.168.2.xxx）を割り当てます。

例) パソコンのIPアドレス = 192.168.2.201

※ 192.168.2.1 は本製品のIPアドレスの初期値です。使用しないでください。

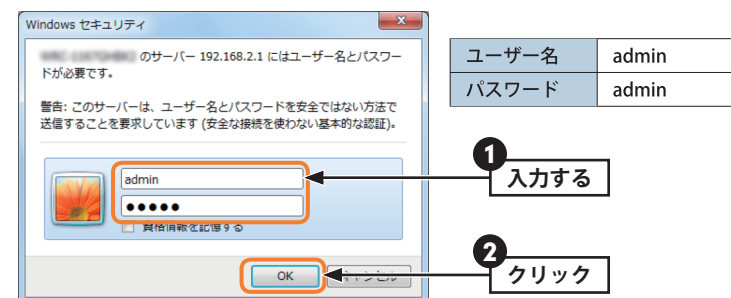


3 パソコンと本製品を有線LANで配線します。

4 パソコンのWebブラウザを起動します。アドレス欄に「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



5 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OKをクリックします。



初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
本製品の設定ユーティリティが表示されます。

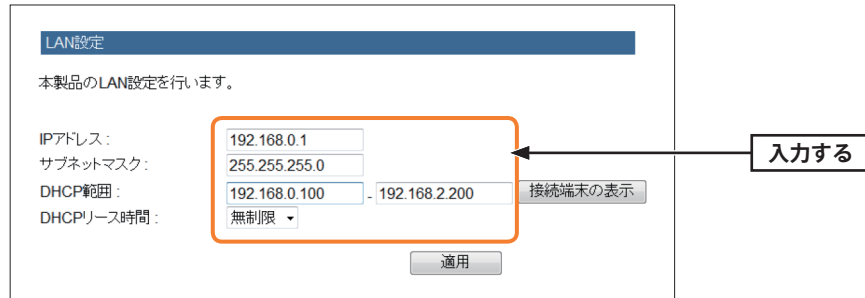
6 画面左のメニューリストから [WAN&LAN 設定] → [LAN 設定] を選択します。

7 [IP アドレス]を、ご使用のネットワークのセグメントにあわせませす。

例) ご使用のネットワークが「192.168.0.1」の場合

→本製品の固定IP アドレス「192.168.0.xxx」

※「xxx」は、ご使用のネットワークの他のネットワーク機器と重複しない数値を設定してください。



LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス: 192.168.0.1
 サブネットマスク: 255.255.255.0
 DHCP範囲: 192.168.0.100 - 192.168.2.200
 DHCPリース時間: 無制限

接続端末の表示

適用

入力する

本製品のIPアドレスは忘れないようにメモしてください。

192.168. .

8 適用 をクリックし、設定を保存します。



適用

クリック

9 設定に使用したパソコンのIPアドレスを「自動取得」に戻します。

10 これで、ご使用のネットワーク上のパソコンから、本製品の設定ユーティリティにアクセスできるようになります。

- 本製品の設定ユーティリティにアクセスしたい場合は、パソコンのWebブラウザのアドレス欄に「http://(本製品に指定したIPアドレス)」を入力して、アクセスします。

例) 本製品に「192.168.0.201」を割り当てた場合→ http://192.168.0.201

4 スマートフォンから手動で無線接続する

カメラ機能を搭載していないiOS 搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) またはAndroid 端末から、本製品へ無線接続するには、暗号キー入力による手動設定が必要です。ここではiPhoneやAndroid端末から本製品へ手動でWi-Fi接続するための設定手順およびインターネットへの接続手順を説明します。

MEMO カメラ機能を搭載したモデルからの接続については、付属の印刷物「かんたんセットアップガイド」をお読みください。

iPhone /Android 端末から本製品に無線接続する

説明中のSSIDおよび暗号キーの表記にある「X」は、実際には任意の英数字が表示されます。

- MEMO**
- 電波干渉を避けるため、Bluetooth 機能をオフにすることを推奨します。
 - 確実に接続するために、本製品の近くで設定してください。

iOS 搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) からの接続

① メインメニューの[設定]をタップ(選択)します。

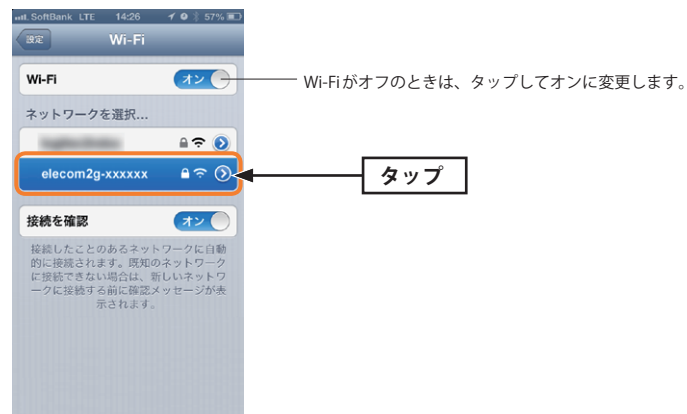


※画面はiPhone 5の例です。

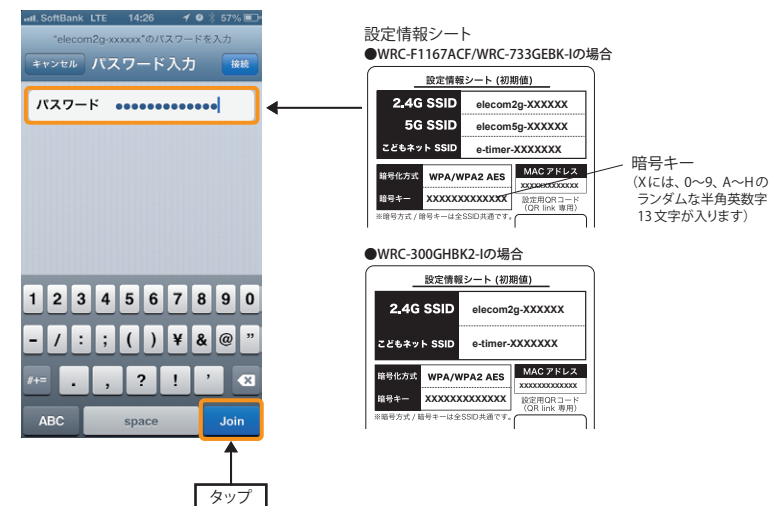
② 設定メニューの[Wi-Fi]をタップします。



③ リストに表示された「elecom2g-XXXXXX (またはelecom5g-XXXXXX)」をタップします。



④ 本製品のパスワードを入力し、[Join]をタップします。



- パスワードは、本製品に付属の「設定情報シート」の「Key」に記載されている13文字の半角英数字(すべて大文字)です。
- iOS搭載機器で英字を大文字で入力するには、毎回 を押してから、アルファベットを選択する必要があります。

⑤ 正しく接続できたか確認します。



MEMO

無線接続に失敗した場合

手順④で誤ったパスワードを入力した可能性があります。

次の手順で接続をやり直してください。

- ①リストに表示された「elecom2g-XXXXXX (またはelecom5g-XXXXXX)」の右端にある[>]をタップします。
- ②「このネットワーク設定を削除」をタップします。
- ③手順③からやり直します。

「ネットワーク“elecomXg-XXXXXX”に接続できません。」と表示された場合

次の手順で接続をやり直してください。

- iPhone/iPad/iPod touchの電源をいったん切り、再び入れてからやり直してください。
- Bluetooth機能がオンの場合、電波干渉によりWi-Fi接続ができないことがあります。Bluetooth機能をオフにしてからやり直してください。

⑥ これでiPhone等から本製品への接続作業は完了です。

- 本製品からインターネットに接続する設定が完了していない場合は、P145「インターネット接続の設定手順」をお読みください。

Android 端末からの接続

① [アプリ一覧]のボタンをタップします。



MEMO

画面は一般的な例です。お使いの機種により画面の内容が異なる場合がありますが、操作方法は同様です。詳しくは各社スマートフォンの説明書をご確認ください。

② [設定]をタップします。



3 [無線とネットワーク]をタップします。



4 [Wi-Fi設定]をタップします。



5 一覧から「elecom2g-XXXXXX (または elecom5g-XXXXXX)」をタップします。



6 本製品に付属の設定情報シートに記載されている13文字の半角英数字(すべて大文字)を入力します。



設定情報シート
●WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-Iの場合

設定情報シート (初期値)	
2.4G SSID	elecom2g-XXXXXX
5G SSID	elecom5g-XXXXXX
こどもネット SSID	e-timer-XXXXXX
暗号化方式	WPA/WPA2 AES
暗号キー	XXXXXXXXXXXXX
MAC アドレス	XXXXXXXXXXXX

暗号キー
(Xには、0～9、A～Hの
ランダムな半角英数字
13文字が入ります)

●WRC-300GHBK2-Iの場合

設定情報シート (初期値)	
2.4G SSID	elecom2g-XXXXXX
こどもネット SSID	e-timer-XXXXXX
暗号化方式	WPA/WPA2 AES
暗号キー	XXXXXXXXXXXXX
MAC アドレス	XXXXXXXXXXXX

- 7 画面上部に  が表示されていることを確認します。



- 8 これで Android 端末から本製品への接続作業は完了です。
- 本製品からインターネットに接続する設定が完了していない場合は、P145「インターネット接続の設定手順」をお読みください。

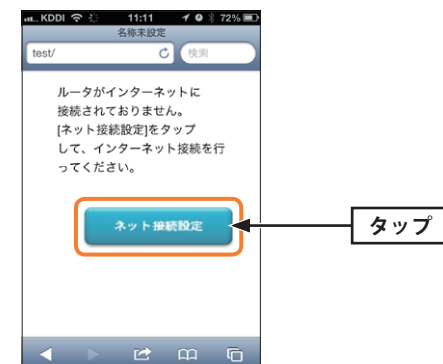
iPhone/Android 端末からインターネットに接続する

本製品は、パソコンを使わずに iPhone や Android 端末などからインターネット接続の設定が可能です。

本製品に Wi-Fi 接続ができるようになったあとで、以下の手順で操作してください。

インターネット接続の設定手順

- 1 インターネットブラウザを開くと、以下の画面が表示されますので、[ネット接続設定] ボタンをタップします。



MEMO

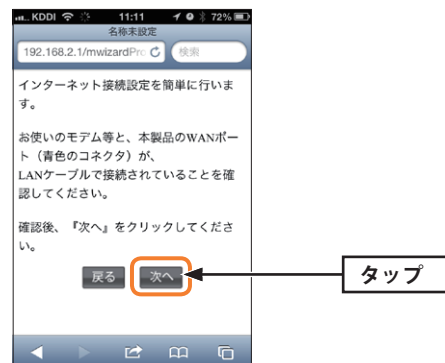
ブラウザを開いたときに、インターネットに接続できている場合は、すでに設定が完了しています。

- 2 [ユーザー名]、[パスワード]に、それぞれ「admin」と入力し、[ログイン]をタップします。



- すべて半角小文字で入力します。

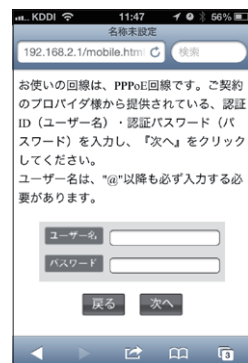
③ [次へ]をタップします。



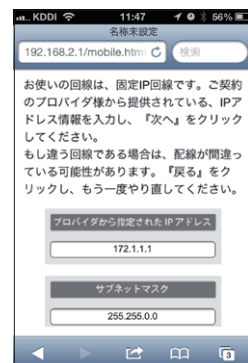
- インターネット回線の種別の自動識別が始まります。

④ DHCP接続の場合は、操作⑥の画面が表示されます。それ以外の回線の場合は以下のいずれかの画面が表示されます。

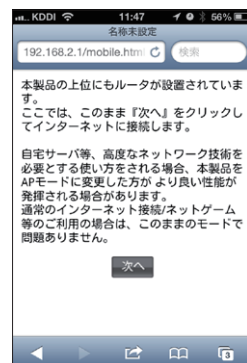
◆ PPPoE回線



◆ 固定 IP



◆ 上位にルーターが存在



PPPoE回線

プロバイダーより提供された「ユーザー名」「パスワード」を入力し、[次へ]をタップします。

※ユーザー名には、必ず@以降も入力してください。

固定 IP

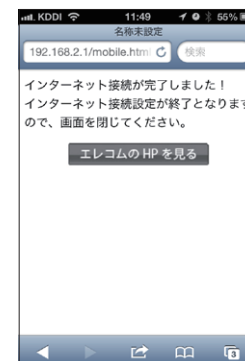
プロバイダーより提供されたアドレス等を入力し、[次へ]をタップします。

上位にルーターが存在

[次へ]をタップします。

⑤ インターネットに接続できるか自動的に確認します。その後、インターネットに正常に接続できると、操作⑥の画面が表示されます。

⑥ 以下の画面が表示されたら、インターネットへの接続は完了です。



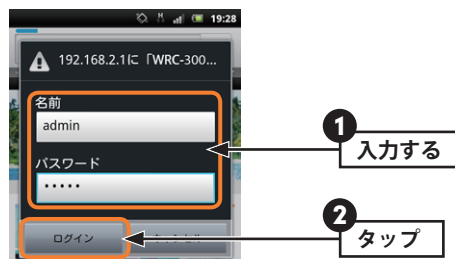
5 スマホ/タブレットからの詳細設定

本製品は、スマートフォンおよびタブレットから詳細な設定が可能です。以下の手順で設定画面を表示してください。なお、各項目の内容については、P45 Chapter 3「詳細設定編」の説明を参考にしてください。

- 1 Webブラウザのアドレス欄に「http://192.168.2.1」と入力し、実行します。



- 2 ログイン画面が表示されます。[名前(ユーザー名)]、[パスワード]に、それぞれ「admin」と入力し、[ログイン]をタップします。



※パスワード等を変更している場合は、変更したパスワード等を入力します。

- 3 スマホ版の設定画面が表示されます。下方へスクロールすると、設定項目のメニューが表示されます。[設定]等のボタンをタップすると設定画面等が表示されます。



MEMO

[PC版設定ページへ]をタップすると、パソコン対応の設定ユーティリティ画面が表示されます。ただし、ご使用の機種やブラウザによっては、画面が正常に表示されない場合があります。

6 サービス情報サイト使用時の設定

本製品でNTT東日本、NTT西日本のサービス情報サイトを利用する場合の設定手順を説明します。このマニュアルのP75「**PPPoE**を選択した場合」や、NTT東日本またはNTT西日本のホームページにある説明もご参照ください。

※「フレッツ・スクウェア」は、平成23年6月1日より「サービス情報サイト」に名称を変更しました。

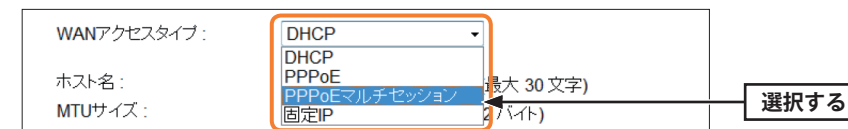
ここでは、通常のインターネット接続で使用するアカウントを「PPPoE1」、サービス情報サイトで使用するアカウントを「PPPoE2」に登録する例を説明します。



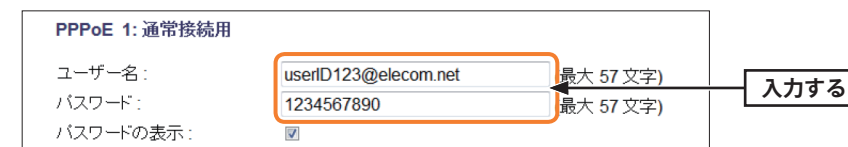
本製品はフレッツ光ネクストのNGN IPv4 サービスはサポートしていません。接続にはBフレッツ等の設定方法を使用する必要がありますので、ご注意ください。

- 1 設定ユーティリティの画面左のメニューリストから[WAN&LAN設定]→[WAN設定]を選択します。(→P73「**WAN設定画面**」)。

- 2 「WANアクセスタイプ」で[PPPoE マルチセッション]を選択します。画面が2つのアカウントに登録可能な画面に切り替わります。



- 3 「PPPoE1」に、通常のインターネット接続で使用するアカウント(ユーザー名とパスワード)を登録します。



4 引き続き「PPPoE 2」に、サービス情報サイトで使用するアカウントを登録します。

PPPoE 2: NTTフレッツ東日本サービス用。

ユーザー名: (最大 57 文字)

パスワード: (最大 57 文字)

パスワードの表示: ☒

入力する

NTT 東日本	ユーザー名: guest@flets	パスワード: guest
NTT 西日	ユーザー名: guest	パスワード: flets

5 すべての設定が終われば、**適用** をクリックします。

☒ UPnPを有効にする。

☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

☒ IPv6 ブリッジを有効にする。

☒ HW NATを有効にする

適用

クリック

6 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。**更新** をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[戻る]ボタンを押してください。

すべての設定を反映し再起動するには[更新]ボタンを押してください。

戻る 更新

クリック

- 他の設定を続ける場合→ **戻る** をクリックします。引き続き他の項目を設定します。
- 変更した設定を保存して有効にする場合→ **更新** をクリックし、手順 **7** へ進みます。

7 待ち時間が表示され、しばらくすると自動的に<ステータス>画面が表示されます。

8 ブラウザーをいったん閉じます。サービス情報サイトにアクセスするには、Web ブラウザーのアドレス入力欄に、「http://www.flets/」と入力し、ホームページに接続します。

7 こんなときは

MEMO

付属の印刷物「製品情報」の「FAQ (困ったときは)」もご参照ください。

無線LAN関係のトラブル

付属の「セットアップCD」のセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

●無線LANが繋がらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？ プロトコル (TCP/IP など)、クライアント (Microsoft Network クライアントなど)、サービス (Microsoft Network 共有サービスなど) を環境に応じて設定する必要があります。

②ルーターなどのDHCPサーバー機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？ セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANが繋がらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSが繋がらない。

①WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやり直してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

付属の「セットアップCD」のセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見当たらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

②DHCPサーバー機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り当ててください。TCP/IPのプロパティにある〈IPアドレス〉タブで設定します。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダーによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダーから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャーなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンターの共有ができない。

① ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンターの共有はできません。

8 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようなになっているかを確認する方法を説明します。

ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線LAN子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

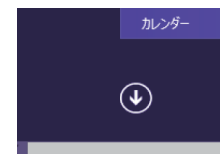
パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 8.1/8 の場合

① ご使用のOSのバージョンにあわせて操作します。

■ Windows 8.1 の場合

スタート画面の左下にある下矢印をクリックします。



■ Windows 8 の場合

- ①スタート画面で画面の背景部分を右クリックします。
タッチパネルの場合は、画面下から内側へスワイプさせます。
- ②画面下に現れた「すべてのアプリ」をクリックします。



② アプリの一覧から[コマンドプロンプト]をクリックします。



- ③ <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users¥Master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ④ 「イーサネット アダプター イーサネット※」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxx は任意の数字)。

```
イーサネット アダプター イーサネット:

接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
IPv6 アドレス . . . . .:0000:a000:00e0:0:200c:af00:0000:0000
一時 IPv6 アドレス . . . . .:0000:a000:00e0:0:200c:af00:aa0:0000
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .:fe00::2000:af00:900d:0000%12
IPv4 アドレス . . . . .:192.168.2.101
サブネット マスク . . . . .:255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . .:fe00::200:a2f0:fe0d:ab0e%12
192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ⑤ 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P158「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

Windows 7/Vistaの場合 ※画面はWindows Vistaの例です。

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。

- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続※」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxx は任意の数字)。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

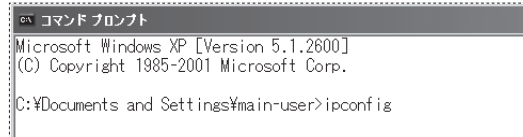
接続固有の DNS サフィックス . . . . .:
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .: fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . .: 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . .: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . .: 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態(初期値)で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P158「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

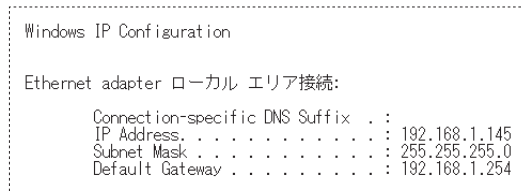
Windows XP/2000の場合

- 1 [スタート]→[(すべての) プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- 2 くコマンドプロンプト画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「"xxx"は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- 3 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxxは任意の数字)。



※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- 4 本製品を工場出荷状態 (初期値) で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P158「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常にIPアドレスが割り当てられていると、各パソコンのIPアドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字 (初期値: 100~200のいずれか) です。またサブネットマスクが「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表記されていれば、本製品と正常に接続されています。

9 基本仕様

無線LAN部

規格	WRC-1167GEBK-I WRC-F1167ACF WRC-733GEBK-I	IEEE802.11ac (5GHz 帯) IEEE802.11n (2.4/5GHz 帯) IEEE802.11a (5GHz 帯) IEEE802.11g (2.4GHz 帯) IEEE802.11b (2.4GHz 帯)
	WRC-300GHBK2-I	IEEE802.11n (2.4GHz 帯) IEEE802.11g (2.4GHz 帯) IEEE802.11b (2.4GHz 帯)
周波数帯域	5GHz 帯: 5,150~5,250MHz (W52: 5.2GHz)、 5,250~5,350MHz (W53: 5.3GHz)、 5,470~5,725MHz (W56: 5.6GHz)、 2.4GHz 帯: 2,400~2,484MHz	
チャンネル	5GHz 帯: [W52] 36、40、44、48ch、 [W53] 52、56、60、64ch、 [W56] 100、104、108、112、116、120、124、128、 132、136、140ch 2.4GHz 帯: Auto/1~13ch	
伝送方式	11ac/11a/11n/11g: OFDM 方式、 11b: DS-SS 方式	
データ転送速度 (理論値)	WRC-1167GEBK-I WRC-F1167ACF	11ac: 最大867Mbps、 11n: 最大300Mbps、 11a: 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、 11g: 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、 11b: 11/5.5/2/1Mbps
	WRC-733GEBK-I	11ac: 最大433Mbps、 11n: 最大300Mbps、 11a: 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、 11g: 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、 11b: 11/5.5/2/1Mbps
	WRC-300GHBK2-I	11n: 最大300Mbps、 11g: 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、 11b: 11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ (親機)	
アンテナ方式	WRC-1167GEBK-I WRC-F1167ACF	5GHz 帯: 送受信2本、 2.4GHz 帯: 送受信2本
	WRC-733GEBK-I	5GHz 帯: 送受信1本、 2.4GHz 帯: 送受信2本
	WRC-300GHBK2-I	2.4GHz 帯: 送受信2本

セキュリティ	SSID (ステルス設定可)、WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (TKIP)、WEP (64bit/128bit)、MAC アドレスフィルタリング
設定方式	WPS (ボタン搭載)

WAN/有線LAN部

規格	WRC-1167GEBK-I WRC-F1167ACF	IEEE802.3ab (1000BASE-T) (WANのみ) IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3x
	WRC-733GEBK-I	IEEE802.3ab (1000BASE-T) (WANのみ) IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3x
	WRC-300GHBK2-I	IEEE802.3ab (1000BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3 (10BASE-T)
コネクタ	WAN : RJ-45 × 1 ポート、LAN : RJ-45 × 4 ポート	
Auto MDI/MDIX	対応	
オートネゴシエーション	対応	
ハードウェア NAT	対応	

ルーター、その他一般仕様

ルーティング対応プロトコル	TCP/IP	
インターネット (WAN) 接続方式	PPPoE 認証接続 (2 セッション)、IP アドレス自動取得接続、IP アドレス固定接続	
LAN 接続方式設定	DHCP サーバー (有効/無効)、固定 IP アドレス (手動設定)	
セキュリティ	MAC アドレスフィルタリング (許可/拒否)、IP アドレスフィルタリング (許可/拒否)	
ローカルサーバー機能	ポートフォワーディング、仮想 DMZ	
ダイナミック DNS (DDNS)	クリアネット (ロジテック無料提供サービス)、DynDNS 等	
消費電力 (定格)	WRC-1167GEBK-I WRC-F1167ACF	8.8w
	WRC-733GEBK-I	3.4w
	WRC-300GHBK2-I	4.1w
外形寸法	幅 130 × 奥行 26 × 高さ 182.5mm (スタンド含まず)	
質量	約 210g (AC アダプター、スタンドは含まず)	

ELECOM

IEEE802.11ac/11a/11n/11g/11b 準拠 無線 LAN ブロードバンドルーター WRC-1167GEBK-I/WRC-F1167ACF/WRC-733GEBK-I

IEEE802.11n/11g/11b 準拠 無線 LAN ブロードバンドルーター WRC-300GHBK2-I ユーザーズマニュアル